

第6回自動車関連情報の利活用に関する将来ビジョン検討会

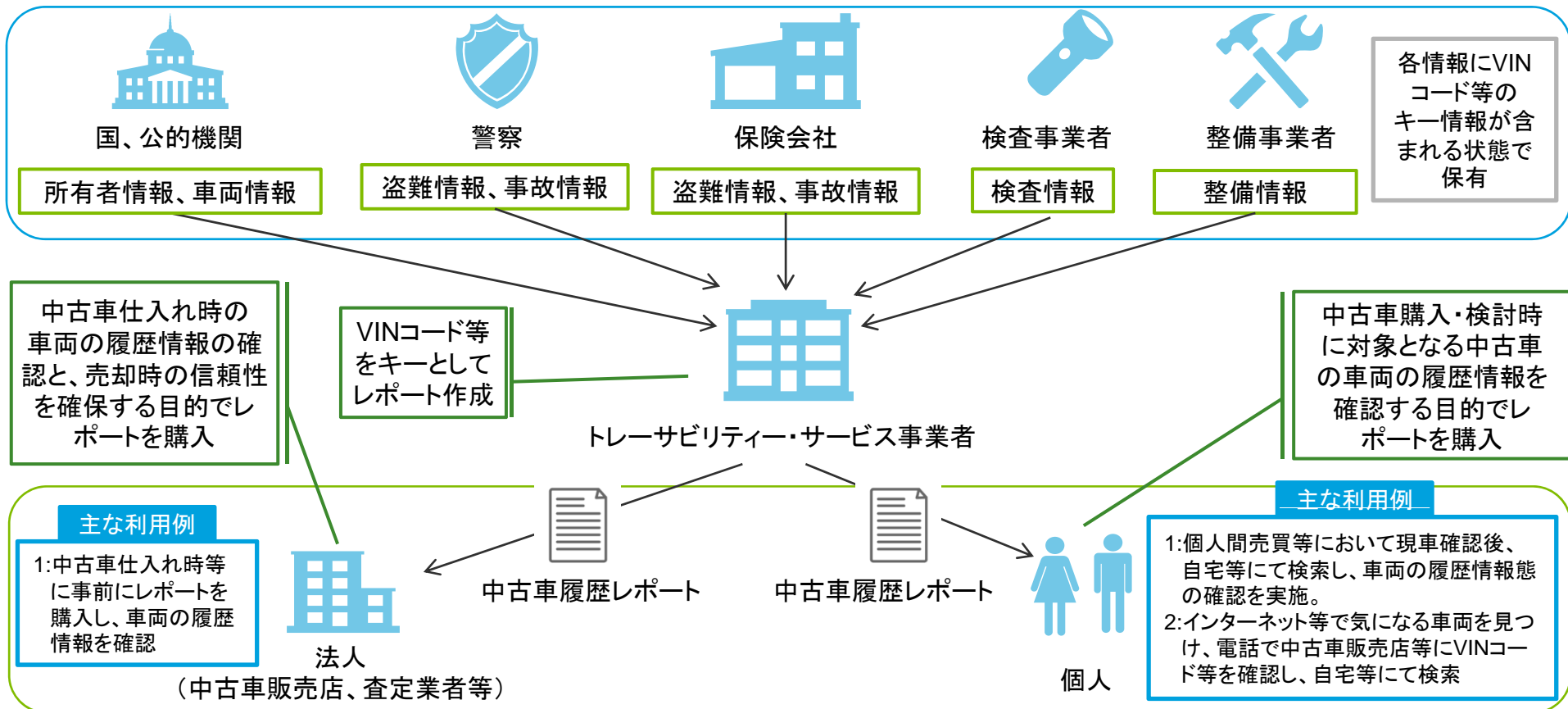
2014年9月19日

トレーサビリティ・サービスの展開について
海外調査及びアンケート調査の結果報告

デロイトトーマツコンサルティング株式会社

トレーサビリティ・サービスとは(収集から提供までの流れ)

- トレーサビリティ・サービスとは、自動車の所有者、整備、修理、事故等の履歴情報を行政機関や事業者等から収集し、レポートとして提供するサービスである。
- このサービスは、米国、英国をはじめ欧米を中心にサービスが展開されている*1。
- 米国を例に見ると履歴情報がVINコードを含む形で保有され、事業者が集約しやすい情報インフラが整備されている。
- 中古車販売店は、中古車仕入れ時の車両の履歴情報の確認、売却時の信頼性を確保する目的でレポートを購入する。
- 個人ユーザーは、中古車購入・検討時に車両の履歴情報の確認を行う目的でレポートを購入する。



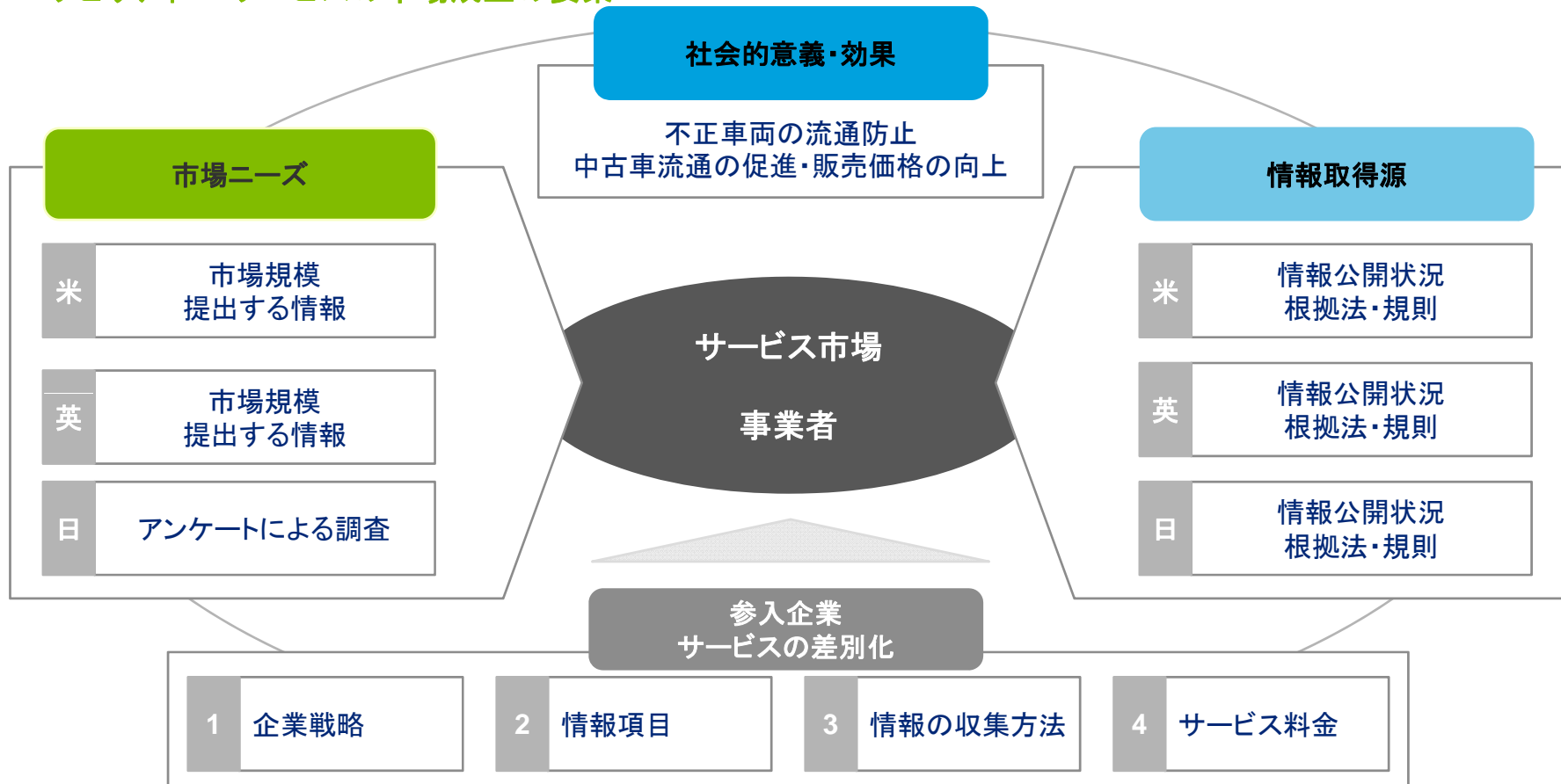
出所: ヒアリングに基づきDTC作成

*1: オランダ、スペイン、カナダ、オーストラリア等で同様のサービスを提供する事業者が存在。アジアでは確認できず。

トレーサビリティ・サービスの市場の成立要素

- トレーサビリティ・サービス市場を形成するためには、トレーサビリティ・サービスの「市場ニーズ」と、トレーサビリティ・サービスを構成する「情報取得源」が共に必要である。
- 市場の形成と同時に、各事業者は戦略的にトレーサビリティ・サービスを展開していく。
- トレーサビリティ・サービス市場が形成されることで、中古車流通市場の活性化、取引の安全安心の向上が期待できる。



トレーサビリティ・サービスの市場成立の要素



トレーサビリティ・サービスに係る諸外国の市場規模と事業者

- 米国、英国共にトレーサビリティ・サービスに対するニーズが存在し、市場が成立している。
- 事業者は提供サービスや価格等で差別化を図っており、本調査では米国最大手のCAR FAX社及び、英国新規参入事業者のTotal Car Check社を調査対象として比較した。

米国、英国における市場概況と調査対象

	米国 	英国 
市場規模 (2013年)	516億円*1 (今後5年で1割程度成長見込み*1)	約200億円*2 (年成長率不明)
主な 事業者	<ul style="list-style-type: none"> ✓ CAR FAX社 (売上: 約186億円*1) ✓ AUTO CHECK 計70社程度	<ul style="list-style-type: none"> ✓ HPI社 (売上: 約100億円*2) ✓ Experian社 ✓ CDL社 ✓ Total Car Check社 他数社程度

✓ 米国で1986年より事業展開する**大手企業**
⇒成熟市場にて既にポジションを確立(シェア約36%*1)



✓ 英国で2013年に新規参入した**ベンチャー企業**
⇒市場でのシェア獲得のために大手と異なるサービスを提供

*1: Vehicle History Report Providers in the US (IBIS world, 2013) *2: Total Car Check社へのヒアリングに基づきDTC推計

諸外国のサービス事例① -企業戦略・特徴-

- CAR FAX社は差別化戦略であり、多様な情報を統合し、長年の業務で培った信頼性を元にレポートを販売している。
- Total Car Check社は、コスト集中戦略であり、必要最低限の情報項目に絞り込み安価に提供することで市場のシェア拡大を狙っている。

CAR FAX社とTotal Car Check社の特徴

	CAR FAX社 	Total Car Check社 
企業戦略	差別化戦略 (顧客に対して、多彩な情報項目と、長年培った信頼性を元に、高い付加価値を前面に出した戦略)(例: 他社(AutoCheck等)では提供していない、輸入情報、過去オーナー情報(利用地域、購入年、所有期間等)、事故情報(事故の種類、毀損度合い等)を提供)	コスト集中戦略 (必要最低限の情報項目に絞り込み安価に提供する戦略)
情報項目	所有者情報、車両情報、事故情報、 整備情報、検査情報、災害情報 、盗難情報、輸出入情報等 ※取得できる情報、取得元は州によって異なり、検査等の情報は州によっては取得できない情報もある (VINコードにより、個車を特定)	所有者情報、車両情報、事故情報、盗難情報 等 (<u>ナンバープレート番号</u> により、個車を特定*1)
情報の収集方法	行政機関の開示情報(所有者情報、事故情報、盗難情報、災害情報等)に加え、 独自に民間企業から情報(整備情報等) を取得し、自社にてVINコードで情報を紐付けし、個車毎の車両履歴情報を構築(34,000社の行政機関、民間事業者等から情報を収集)	行政機関や業界団体の開示情報 (所有者情報、事故情報、盗難情報等)より情報を取得し、自社にてナンバープレート番号で情報を紐付けし、個車毎の車両履歴情報を構築(5社程度の行政機関、民間団体から情報を収集)
サービス料金	取得可能なレポート数によって3つのプランが有り <ul style="list-style-type: none"> ➢ 1車分: \$39.99(約4,150円) ➢ 5車分: \$49.99(約5,200円) ➢ 数量無制限: \$54.99(1ヶ月間)(約5,700円) 	公的機関の情報のみを取得することでデータの共通化等のコスト低減を図り、低廉な価格でレポートの提供が可能 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 1車分: 2.89ポンド(約500円)

脚注: 2014年7月末レートを使用して換算(三菱UFJ) 出所: CAR FAX社HP・ヒアリング、Total Car Check社HP・ヒアリング

*1: 一度登録を受けた自動車は、廃車するまでナンバープレート番号が外れることなく、番号変更等された場合であっても、新旧の情報の提供を受けることにより紐付けを可能としている

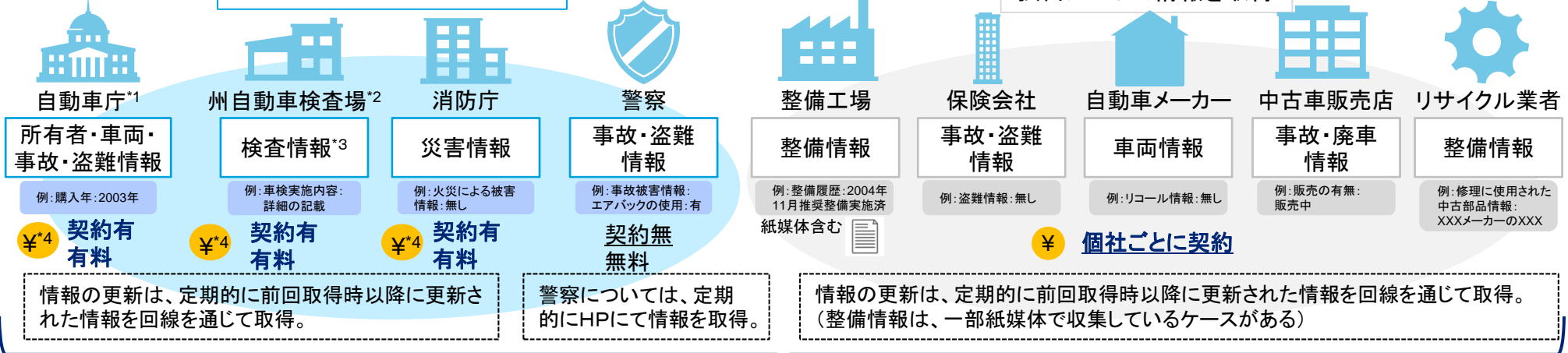
諸外国のサービス事例② -CAR FAX社の概要-

- 行政機関の開示情報に加え、独自に整備事業者等から情報を収集し、データベースでVINコードに各情報を紐付け、レポートを作成・提供している。
- 整備・リサイクル情報等は個別企業との契約等により情報を収集、受領情報は書面の場合もあり自社で電子化している。また、同じ情報であっても、取得元毎に記入方法等が異なり、情報内容の共通化についても自社内で行っている。
- 州毎に取得できる情報の粒度、項目等が異なるため、車両ごとに提供できるレポートの情報項目が異なる場合もある。

【テキサス州の例】

行政機関から開示情報を取得

独自ルートで情報を取得

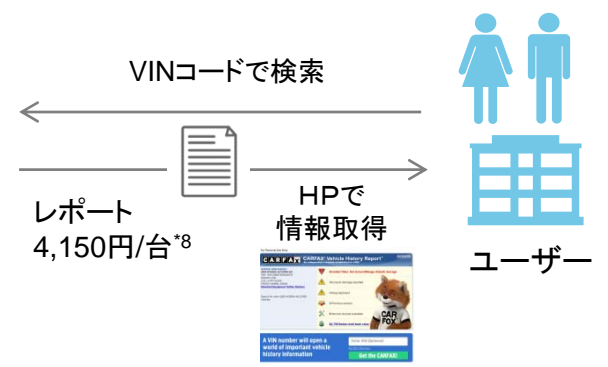


- ✓ 「メーター巻き戻し車両の確認に貢献している」とヒアリングにて確認済み^{*5}
- ✓ 「中古車販売時にCAR FAXレポートがあることにより販売価格が約3%向上する」とヒアリングにて確認済み^{*6}

CAR FAX 社

収集した情報をVINコードで紐付け、自社で情報の共通化等を行った状態で管理し、以下の情報を提供^{*7}
(下線部はどの州でも提供できる情報)

- 所有者情報
- 車両情報
- 事故情報
- 盗難情報
- 整備情報
- 検査情報
- 災害情報
- 廃車情報
- 等



*1:DMV:Department of Motor Vehicle、自動車関連情報の提供価格は州により異なる *2:State Inspection Station *3:車検を実施している州に限る *4:自動車庁の情報料金は14,000円/週(別途契約料176万円)、その他の機関企業の情報料金等は、機密事項であるため確認できず *5:Deloitte US *6:カリフォルニアディーラー協会 *7:CAR FAX社は誤情報時の責任の放棄を明示している *8: 1車分約4,150円、5車分約5,200円
数量無制限1ヶ月間、法人向け契約が存在。 出所: CAR FAX社へのヒアリング、各種HPによりDTC作成 © 2014. For information, contact Deloitte Touche Tohmatsu LLC.

諸外国のサービス事例② CAR FAX社の提供情報項目-

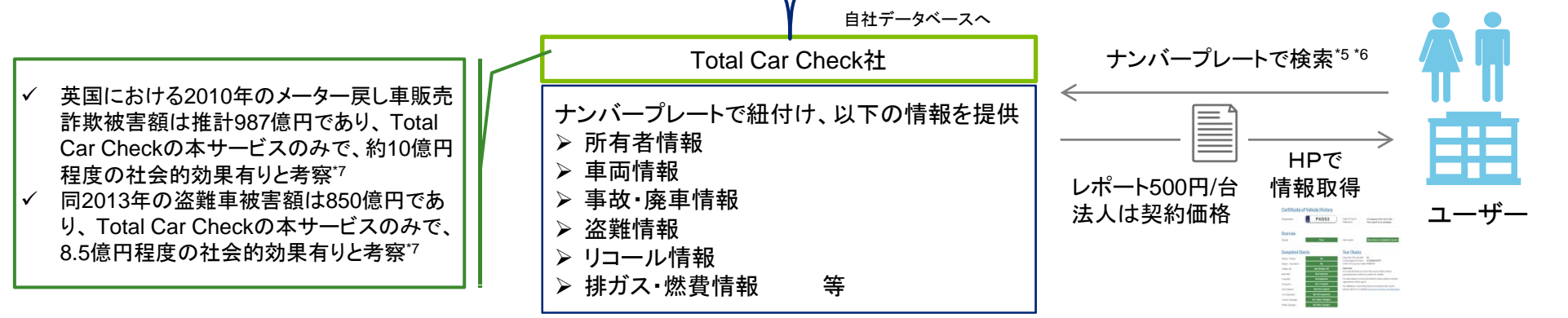
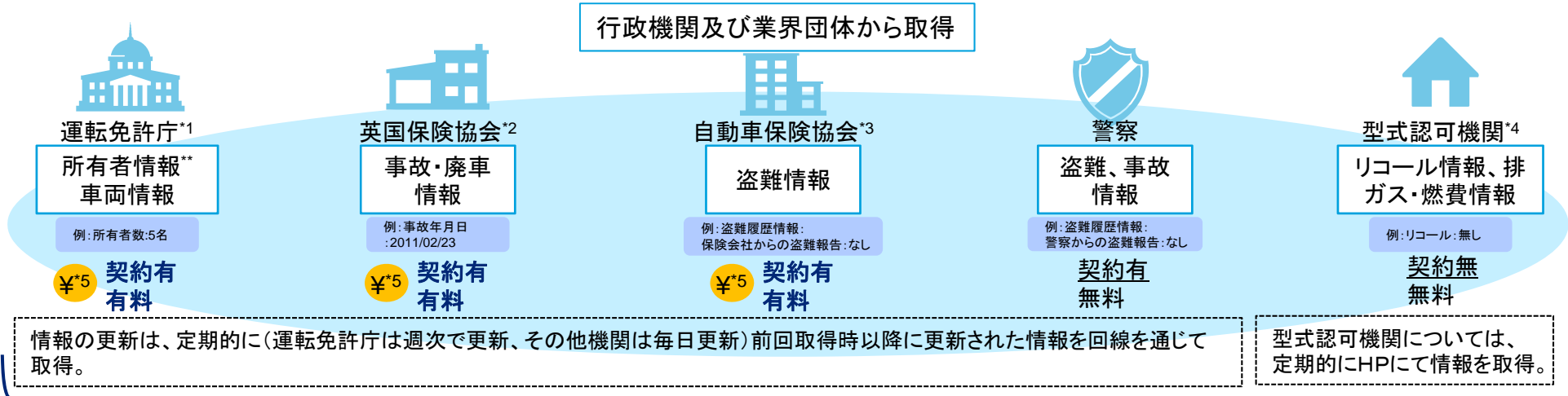
- 米国において中古車トレーサビリティ・サービスを提供する最大手の事業者である。
- 自動車整備情報については、独自に整備事業者から取得し、自社のデータベースへ登録している。

CAR FAX社の提供情報項目 一例

情報取得元	情報取得項目	提供情報詳細	提供情報具体例
州自動車庁 ^{*1}	所有者情報	所有者変更情報	前所有者数:2人、購入年:2003年、所有者区分:個人/法人、 所有期間:3年5ヶ月、所有者地域:マサチューセッツ
		車両情報	走行距離
	自動車登録情報		登録日・州:2003年3月21日マサチューセッツ自動車局で登録、VIN、 使用目的:個人使用/貨物輸送/レンタル/商用
	自動車メーカー		リコール情報
中古車販売店		販売中かどうか	販売中
州自動車庁 ^{*1}	事故情報	事故・災害による被害情報	左フロントの毀損、エアバックの使用:有/無、購入前の車両検査の推奨
		警察	各州の事故に関する警察レポート
整備業者 自動車リサイクル業者	整備情報	整備履歴	2003年3月9日TracyMotorsPlymouthにてフロントガラス・フォグランプ 部品の交換、2004年11月7日推奨整備実施済
		修理に使用された中古部品情報	XXXメーカーのXXX
州自動車検査場	検査情報	安全性及び排ガスに関する車検情報	2004年5月7日にマサチューセッツ検査場にて排ガス検査を合格、2005年11月17日 にマサチューセッツ検査場にて安全性検査を合格
		車検実施内容	クリックすると詳細検査内容閲覧可”View what was inspected”
消防署	災害情報	火災による被害情報	火災被害情報無し
州自動車庁 ^{*1} 保険会社 警察	盗難情報	盗難車情報	盗難情報
輸出入業者	輸出入情報	輸出元及び輸出先情報	ロサンゼルスから輸出、日本に輸入
		車両ごとの輸入及び輸出が決定された日付	2012年12月9日

諸外国のサービス事例③ -Total Car Check社の概要-

- 行政機関及び業界団体との個別契約等により、自動車関連情報を収集している。
- 競合他社と異なり、民間企業との個別契約を結んでいないことから、情報収集・情報所有主体の探索・データ形式の共通化等の手間を省き、安価なレポート提供を実現している。
- 収集した情報を、自社データベースでナンバープレートに各情報を紐付けし、レポートを作成・提供している。(英国では、販売されている自動車に常にナンバープレートが付随している為、紐付けが可能)



*1:DVLA:Driver and Vehicle Licensing Agency *2:ABI:Association of British Insurers *3:MIB:Motor Insurers' Bureau *4:VCA:Vehicle Certification Agency(日本での独立行政法人に該当) *5:運転免許庁の情報料金は1,700万円/年、英国保険協会の情報料金は170円以下/台で、その他の機関の情報料金等は、機密事項であるため確認できず *6:Total Car Check社は誤情報時の責任の放棄を明示している

*7:"Total Car Check" NESTA Open Data Challenge Series,2014

8 脚注:2014年7月末レートを使用して換算(三菱UFJ) 出所: Total Car Check社ヒアリング

© 2014. For information, contact Deloitte Touche Tohmatsu LLC.



諸外国のサービス事例③ -Total Car Check社の提供情報項目-



■ Total Car Check社では、「所有者情報」「車両情報」「事故情報」「盗難情報」等をレポートに記載しており、レポートとして提供している情報の中には、パーソナルデータは含まれないとしている。(Total Car Check社 ヒアリングより)

Total Car Check社の提供情報項目 一例

情報取得元	情報取得項目	提供情報詳細	提供情報具体例
運転免許庁	所有者情報	所有者数	5人
		現所有者取得日	2010年5月19日
		前所有者売却日	2010年5月19日
		前所有者取得日	2008年7月26日
	車両情報	自動車諸元	型式Mini R50、重量1495 Kg、エンジンサイズ1598cc 等
		車齢	11年7ヶ月
		VINコード(下2桁)	24
		ナンバープレート変更	2回の変更あり (初回変更:2008年6月17日「EO51TTR」) 2回目変更:2012年6月14日「T43FRN」)
輸出入情報	輸入情報	輸入歴あり	
	輸出情報	輸出歴なし	
型式認可機関	車両情報	CO2排出量、ランクA~M	167 g/km、ランクH
		燃費・管理費	€1052/12,000 マイル
		リコール	なし
警察 英国保険協会	事故情報	事故年月日	2011/02/23
英国保険協会		事故の被害情報 (カテゴリA~D)	カテゴリD (英国では毀損の程度は4カテゴリで表現され、A:全損・再利用部品無し、B:全損・一部部品再利用可能、C:被害有り・修復可能、D:被害有り(Cより軽度)・修復可能となっている)
		廃車情報	廃車情報
警察、 自動車保険協会	盗難情報	盗難履歴情報	警察からの盗難報告:なし、保険会社からの盗難報告:なし

諸外国のサービス事例④ -サービス事例の比較-

- CAR FAX社のサービスモデルは、行政機関等の開示情報以外に企業の情報を収集し、自社努力で収集した情報を差別化要因としているため、高付加価値のレポートの提供が可能となっている。
- Total Car Check社のサービスモデルは、行政機関及び業界団体の情報を活用し、最低限必要な情報の提供と利用しやすい価格設定が可能であり、事業組成が容易である。
- 一方、行政機関等の開示情報以外の情報を活用する場合、情報所有主体の特定と、情報内容の精査費用等の追加コストが課題となってくる。

	強み	弱み
 CAR FAX社のサービス事例 <u>差別化戦略</u>	情報取得の範囲が広く、多様なニーズへ対応し高付加価値なレポート提供可能 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 独自に民間企業から収集した情報も含まれており、他社と差別化が可能 ✓ 情報を元に、高額でのレポート販売が可能 	情報取得の障壁が高い <ul style="list-style-type: none"> ✓ 情報項目が多く、情報取得に追加コストが必要 ✓ 民間企業から収集した情報は、データの共通化、情報の精査にも追加的にコスト必要
 Total Car Check社のサービス事例 <u>コスト集中戦略</u>	情報取得が容易＝事業の開始が容易 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 情報項目を絞り、また、主に行政機関からの提供情報を用いることで容易に事業を開始可能 利用しやすい価格設定が可能 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 情報項目が絞られ、また主に行政機関の信頼性の高い情報を用いることで、データの精査が不要となりコストの削減が可能 	情報取得の範囲が狭くニーズが限定的な恐れ <ul style="list-style-type: none"> ✓ ユーザーのニーズに沿った情報項目が取得できていない恐れ有り(ユーザーニーズが把握できていれば回避可能)

トレーサビリティ・サービスの情報取得源①

-米国・英国における行政機関の情報提供範囲-



■ トレーサビリティ・サービスに関連する情報として、米国、英国ともに、行政機関から「所有者情報」「車両の緒元情報」「事故情報」「盗難情報」「検査情報」「災害情報」が提供されている。

行政機関におけるトレーサビリティ・サービスに関する情報の提供範囲 一例

	米国	英国	日本
所有者関連情報	州自動車庁 ^{*1}	運転免許庁 ^{*2}	国土交通省
車両の諸元情報	州自動車庁	運転免許庁 型式認可機関 ^{*3}	国土交通省
事故情報	州自動車庁 警察	警察	非公開 (所有は警察)
盗難情報	州自動車庁 警察	警察	一部公開 ^{*5} (所有は警察)
検査情報	州車検場	車両規格庁 ^{*4}	国土交通省
災害情報 (火災情報のみ)	州消防庁	地区消防庁	非公開 (所有は消防署)
整備情報	該当無し	該当無し	該当無し

出所:各HP

*1:DMV:Department of Motor Vehicle *2:DVLA:Driver and Vehicle Licensing Agency *3:VCA:Vehicle Certification Agency *4:DVSA:Driver and Vehicle Standards Agency

*5:警察から提供を受けた盗難情報のうち、MOTASに設定した年月日及び設定した運輸支局等の情報を請求に応じて提供

トレーサビリティ・サービスの情報取得源②

-米国・英国の個人情報/パーソナルデータに関する取り扱い-



- パーソナルデータの取扱いについては、米国は「事前確認の必要は無く、対象の要望に応じて利用を停止」(オプトアウト)、英国は「情報の取扱いに事前確認が必要」(オプトイン)となっている。
- 日本における個人情報の取扱いについては、英国と同様にオプトインとなっている。現在、日本ではパーソナルデータの取扱いについて、英国と同様のオプトインの考え方を基本として検討中。

日本と米英のパーソナルデータの取扱い

	米国	英国	日本
基本的な考え方	<u>事前確認の必要はなく</u> 、対象の要望に応じて利用を停止(オプトアウト)	<u>情報の取扱いに事前確認が必要</u> (オプトイン)	<u>情報の取扱いに事前確認が必要</u> (オプトイン)
パーソナルデータ (日本は個人情報) の定義*	「パーソナルデータ」とは、 <u>特定の個人に連結可能なあらゆるデータ</u> をいい、集計されたデータを含む。これは、特定のコンピュータやその他の機器に連結されたデータも含む」(米国プライバシー権利章典)	「パーソナルデータ」とは、「 <u>あるデータの対象者に関するすべての情報を意味する</u> 。」(英国データ保護法)	「生存する個人に関する情報であって、当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述等により <u>特定の個人を識別することができるもの</u> をいう。」(個人情報の保護に関する法律)
取扱いに関する根拠法	-	英国データ保護法	個人情報の保護に関する法律
パーソナルデータの取扱いに関する根拠法	パーソナルデータの取扱いに関する包括的な法律はなく、分野別(健康、通信、児童プライバシー等)の個別法で定めている。 <u>自動車分野に関する個別法は存在しない。</u>	英国においては、パーソナルデータを取り扱う業務では、公的機関である「 <u>情報コミッショナー</u> 」に対し、「氏名、住所、代表者、取扱目的、提供先、情報の国外移転時の国名、データ保護安全管理体制」を申請・データ管理者登録を行い、 <u>事前に確認を受ける必要がある</u> *1。	個人情報保護法に基づき、個人情報を取扱う事業者には利用制限等の義務が発生。 一方、 <u>パーソナルデータについては、現在、定義や明確なルールは存在しない。</u>

出所: EUデータ保護規則提案、米国消費者プライバシー権利章典、「英国の情報開示と保護」(財)自治体国際化協会2006、主要各国における個人情報保護法制と第三者機関の実態

12 *1: Data Protection Act 1998 (データ保護法)により、パーソナルデータを取得する者(団体・企業・個人含む)は全てインフォメーション・コミッショナーに登録しなければならない(現在の登録者数:37万以上)

トレーサビリティ・サービスの情報取得源③

-米国・英国のデータ提供に関する法規則-



■ 米国は情報自由法、ドライバープライバシー保護法、英国は情報自由法、日本は道路運送車両法に基づき、行政機関等が保有する自動車関連情報の提供がなされている。

自動車関連情報に関係すると思われる行政機関のデータ提供に関する法規則 抜粋

	米国		英国			日本 ^{*11}	
法規則名	情報自由法 ^{*1}	ドライバープライバシー保護法 ^{*2}	情報自由法 ^{*3}	自動車登録・免許規則 ^{*5}	データ保護法 ^{*6}	道路運送車両法	個人情報保護法
有償・無償の別	有償 / 無償 (提供する機関が設定) ^{*7}	-	有償 / 無償 (提供する機関が設定) ^{*7}	有償	-	有償	-
情報提供に関する根拠	行政機関が保有する情報について、国家安全保障、営業上の機密情報、人事規則、個別法において非開示と規定されている情報等の非開示事由に該当する情報を除き、すべて開示することを規定	州自動車庁が入手した全ての個人情報、原則故意に開示してはならないことを規定 個人情報とは、「個人の写真、社会保障番号、運転免許番号、氏名、住所(郵便番号除く)、電話番号、医療又は障害情報」のこと	行政機関が保有する情報について、パーソナルデータ ^{*4} 、国家安全保障、犯罪捜査等の情報を除き、アクセスする権利を認めると規定	運転免許庁が保有する自動車の所有者や車両の諸元等の情報については、ビジネスモデルや利用目的について同庁が承認することで、提供することができることと規定	パーソナルデータ ^{*4} を取扱う場合には、氏名、住所、代表者、取扱目的、提供先、情報の国外移転時の国名、データ保護安全管理体制について、情報コミッショナー ^{*8} において審査・登録を受けなければならないと規定	何人も登録事項等その他自動車登録ファイル ^{*9} に記録されている情報について請求することができることと規定	個人情報 ^{*10} を取得し、取り扱う場合には、その利用目的及び利用方法についてあらかじめ本人に対して同意を得る必要があると規定 法令に基づく場合、統計の作成又は学術研究の目的の場合等特別の理由を除き、取得した個人情報を目的外利用してはならないと規定

^{*1}:Freedom of Information Act ^{*2}:Driver Privacy Protection Act ^{*3}:Freedom of Information Act ^{*4}:あるデータの対象者に関するすべての情報(EUデータ保護規則提案)
^{*5}:The Road Vehicles (Registration and Licensing) Regulations ^{*6}:Data protection Act ^{*7}:同一情報の価格は提供先に寄らず一定 ^{*8}:Information Commissioners Office ^{*9}:自動車登録ファイルとは、登録番号、車台番号、所有者や使用者の氏名・住所、長さ・幅・高さ、車両重量等の車両の諸元情報等が記録されており、国土交通省にて管理される ^{*10}:特定の個人を識別することができるもの(個人情報保護法) ^{*11}:行政機関は「行政機関の保有する情報の公開に関する法律」により 開示請求があったときは、個人情報等を除き開示する必要がある。

日本の市場ニーズ調査①

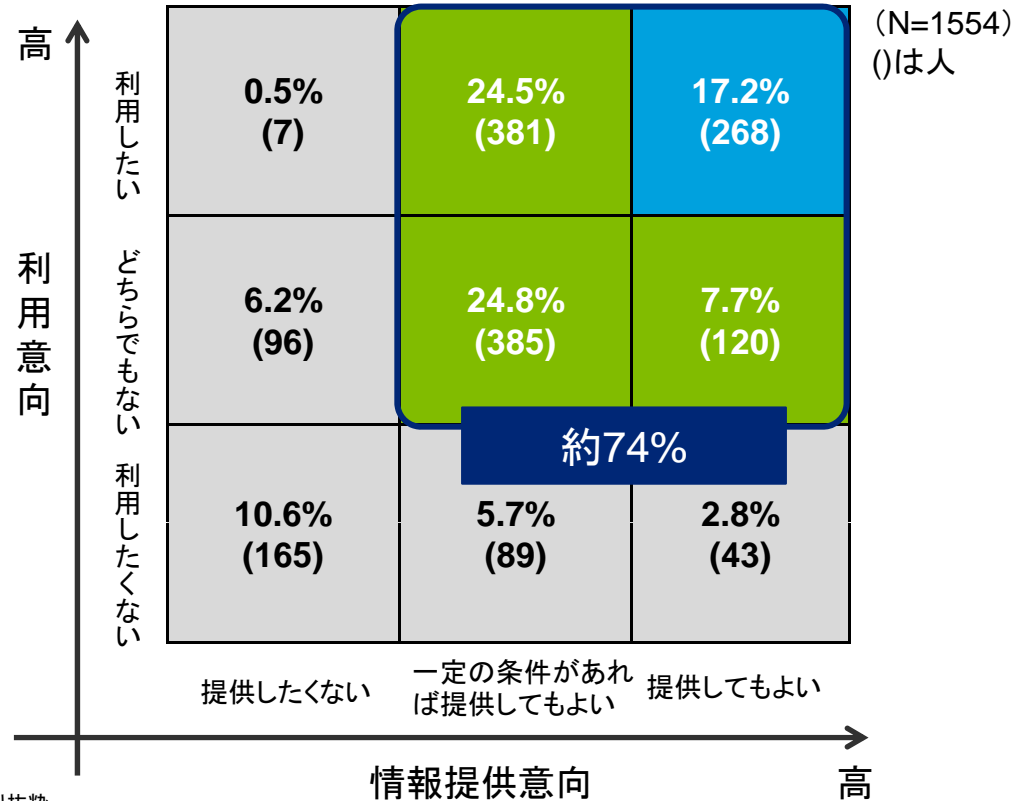
-ユーザーアンケート調査結果「利用可能性の有無」-

■ 日本でのトレーサビリティサービスの「利用可能性」及び「情報提供意向」についてアンケート調査を実施した。

分析 ■ 中古車トレーサビリティサービスについて、「利用可能性及び情報提供意向がある」自動車ユーザーは、全体の約74% (第4回検討会にて報告)

質問 問(縦軸): 中古車トレーサビリティサービスを中古自動車の購入時に利用したいですか? (択一)
問(横軸): ご自身の自動車の整備・事故情報等を中古車トレーサビリティサービス提供者へ提供してもよいですか? (択一)

- 調査目的: 日本においてトレーサビリティサービスの利用可能性の把握のため
- 調査手法: Webによるアンケート調査
- 調査期間: 2014/3/18~
- 対象者: 自動車ユーザーの合計1,554人



出所: 前回アンケート実施結果(第4回検討会資料)より抜粋

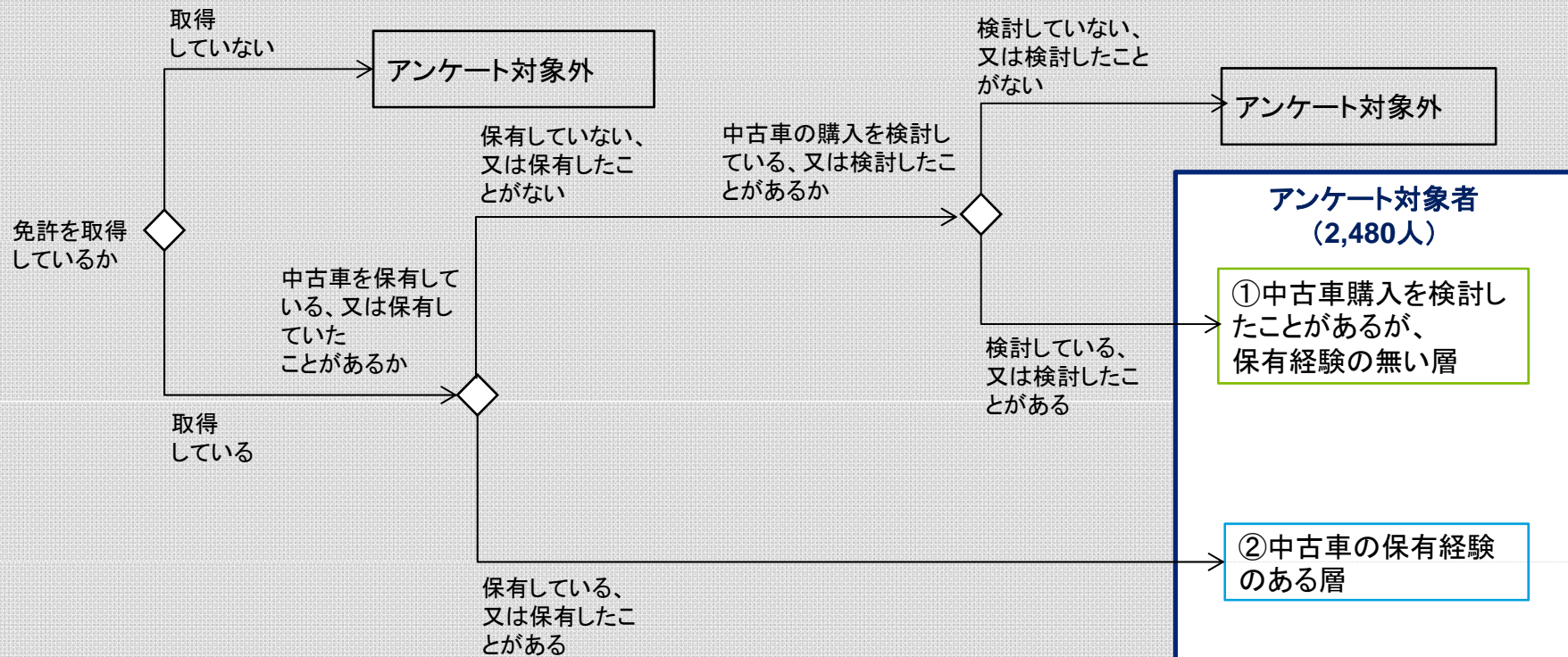
日本の市場ニーズ調査②

-ユーザーアンケート調査概要「情報項目」-

- 日本においてトレーサビリティサービスを導入した場合に提供を受けたい情報項目を把握するため、「中古車購入を検討したことがあるが、購入経験のない層」、「中古車の購入経験のある層」を対象にユーザーアンケートを実施した。

アンケート対象者とのスクリーニングイメージ

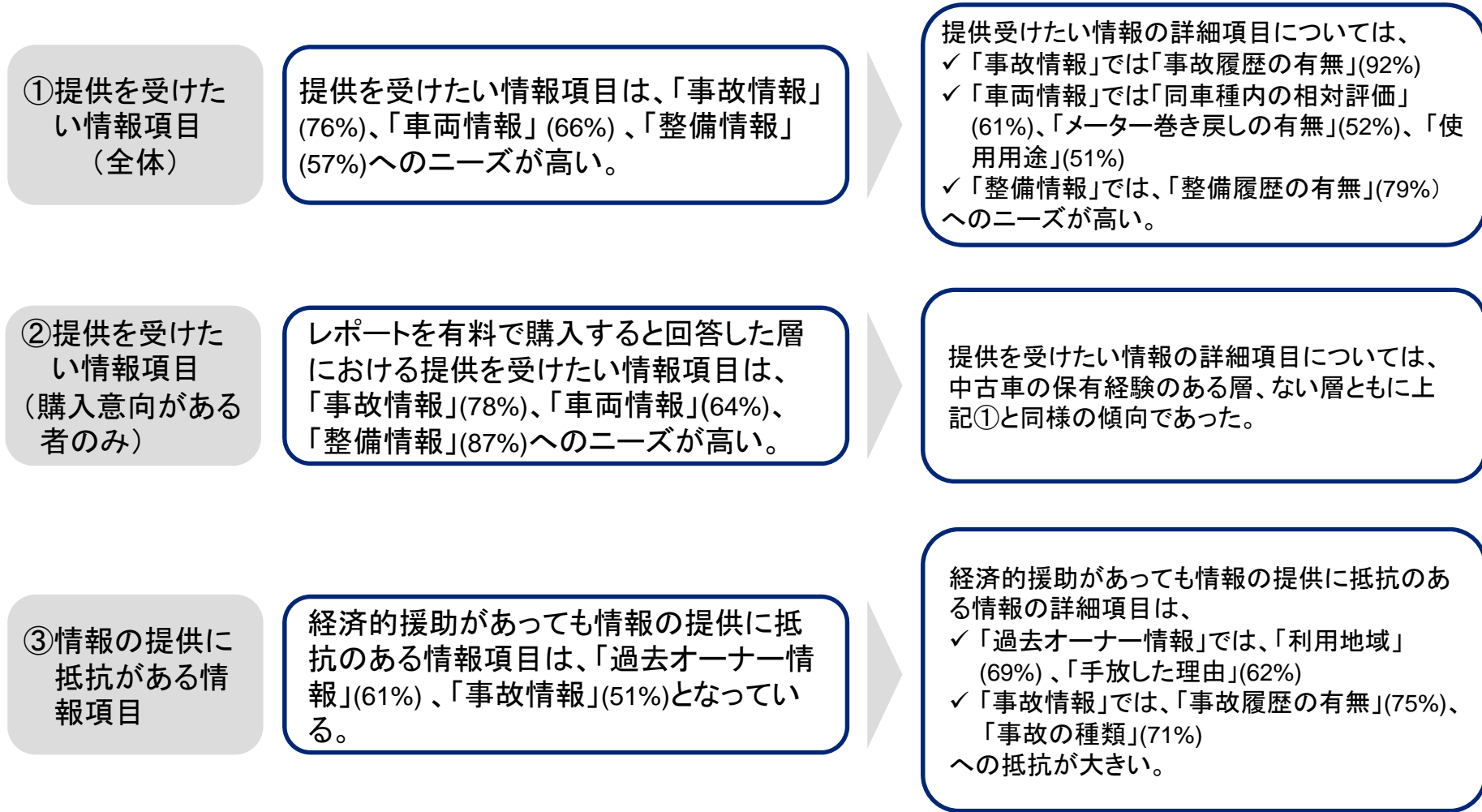
- 調査目的: 日本においてトレーサビリティサービスを導入した場合に提供を受けたい情報項目の把握のため
- 調査手法: Webによるアンケート調査
- 調査期間: 2014/7/26~2014/7/31
- 対象者: 「中古車購入を検討したことがあるが、購入経験のない者」、「中古車の購入経験のある者」の合計2,480人



日本の市場ニーズ調査③

-ユーザーアンケート調査結果「情報項目」-

本アンケートにより、把握できたユーザーのニーズ



まとめ

	米国 	英国 	日本 
購入ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 市場が存在(516億円*¹) ✓ メーター巻き戻し車、事故車・盗難車の流通防止 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 市場が存在(約200億円*²) ✓ メーター巻き戻し車、事故車・盗難車の流通防止 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ アンケートによりニーズを確認(約74%が潜在顧客である) ✓ アンケートより事故情報、整備情報、メーター巻き戻しへのニーズを確認
情報取得源	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 情報自由法等により、行政機関の保有する情報の取得が可能 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 情報自由法等により、行政機関の保有する情報の取得が可能 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ニーズの高い事故情報等で、現在行政機関から取得不可な情報が存在する ✓ 民間企業からの取得可能性が未知数

1. アンケート調査結果によると、我が国においてもトレーサビリティサービスにはニーズが存在し、提供を受けたい情報では、「事故情報」、「車両情報」、「整備情報」へのニーズが高いことが明らかになった。
2. 上記ニーズを踏まえ、我が国においてトレーサビリティ・サービス事業を開始しようとした場合、行政機関だけでは保有していない情報も含まれることから、そうした情報については、CARFAX社と同様に個別事業者から、収集する必要があると考えられる。
3. 情報の保有主体である事業者において「事故情報」や「整備情報」などの車両に関する情報については、その情報が提供可能かどうか(個人情報に該当するの否か等)不明確である等の理由で提供が難しいといった状況等もあり、現在、政府にて検討しているパーソナルデータの利活用に関する制度改正の状況を踏まえつつ、そのような自動車関連情報に関する取扱い方針等を検討する必要があると考えられる。
4. 我が国においてトレーサビリティ・サービスを導入した事業者が安定的にサービスを提供するため、また、利用者にとって信頼のおける情報を提供するためには、情報を一元的に収集し、フォーマットを共通化した情報を提供できる仕組みの構築や、取得できない情報を補完するために、他の情報から推察する一定のルール等の検討も考えられる。

*1:Vehicle History Report Providers in the US(IBIS world, 2013) *2:Total Car Check社へのヒアリングに基づきDTC推計

参考

(参考) Total Car Check社のトレーサビリティ・サービス 自動車履歴レポート例



自動車履歴レポート例

Certificate of Vehicle History

Registration **PASS3** Date Of Check Reference 24 January 2014 10:12 AM
This report is an example.

Overview

Result **Pass** Information **No issues in completed checks**

Completed Checks

Stolen - Police	No
Stolen - Insurance	No
Written off	Not Written Off
Exported	Not Exported
Imported	Not Imported
Scrapped	Not Scrapped
Unscrapped	Not Unscrapped
VIC Inspected	Not VIC Inspected
Colour Changes	No Colour Changes
Plate Changes	No Plate Changes

Your Checks

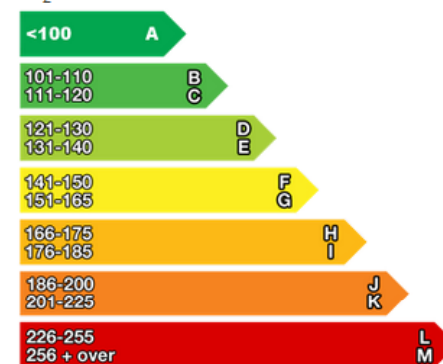
Does the VIN end with: 85
Is the Engine Number: ECFGB6030917
Is the V5C log book date: 01/02/11

Important
It is important that you check the above details before purchasing this vehicle to confirm its identity.
For information on how to find these values please read the appendices of this report.
For definitions of all of the checks included in this report please refer to our detailed [glossary of checks and data fields](#).

Fuel Economy - Used Cars

Reg No.
PASS3

CO₂ emission figures (g/km)



C 117 g/km

Fuel Cost (estimated) for 12,000 miles

This figure is calculated by using the combined drive cycle (town centre and motorway) and average fuel price. Re-calculated annually, the cost per litre as at May 2014 is as follows - petrol 130.9p, diesel 136.9p and LPG 71.9p.

£969

VED for 12 months

£30

VED for 6 months

£N/A

Vehicle excise duty (VED) or road tax varies according to the CO₂ emissions and fuel type of the vehicle.

✓ ナンバープレート番号を検索キーとして自動車の状態、オーナー数などを確認可能。

✓ 車両情報(燃費、CO2排出量等)も確認可能。

(参考) CAR FAX社のトレーサビリティ・サービス 自動車履歴レポート例



自動車履歴レポート例

For Personal Use Only

CARFAX CARFAX® Vehicle History Report™ US \$39.99
An independent company established in 1986

Vehicle Information:
2005 HONDA ACCORD EX
VIN: [REDACTED]
SEDAN 4 DR
2.4L I4 PFI DOHC
FRONT WHEEL DRIVE
[Standard Equipment Safety Options](#)

Search for other 2005 HONDA ACCORD vehicles

- Branded Titles: Not Actual Mileage, Rebuilt, Salvage**
- Structural damage reported
- Airbag deployed
- 3 Previous owners
- 9 Service records available
- \$2,750 Below retail book value**

A VIN number will open a world of important vehicle history information

Enter VIN (Optional)

Get the CARFAX!

- ✓ VINコードを検索キーとして自動車の状態、過去の整備履歴、オーナー数などを確認可能。

Owner 1

Purchased: 2003
Type: Personal
Where: Massachusetts
Est. miles/year: 13,623/yr
Est. length owned: 3/2/03 - 8/17/06 (3 yrs. 5 mo.)

Date:	Mileage:	Source:	Comments:
01/30/2003		Tracy Motors Plymouth, MA 508-830-0101 tracymotors.com	Pre-delivery inspection completed
03/02/2003		Dealer Inventory Massachusetts	Vehicle sold
03/02/2003		Massachusetts Motor Vehicle Dept.	Vehicle purchase reported Titled or registered as personal vehicle
03/05/2003	81	Massachusetts Inspection Station Plymouth, MA	Passed safety or emissions inspection View what was inspected
03/09/2003		Tracy Motors Plymouth, MA 508-830-0101 tracymotors.com	Windshield replaced Fog light assembly replaced
03/21/2003		Massachusetts Motor Vehicle Dept. Plymouth, MA Title #AY584683	Title or registration issued First owner reported Loan or lien reported
10/24/2003	7,584	Massachusetts Damage Report	Vehicle inspected after an accident or other incident Damage to right front Damage to right rear pillar A vehicle inspection completed by your dealer or professional inspector is recommended
01/29/2004		Massachusetts Damage Report	Accident reported with another motor vehicle
01/29/2004	11,445	New Hampshire Damage Report	Structural inspection performed after an accident or other incident Structural damage reported Damage to left front

- ✓ どの整備工場で、いつ、どのような検査整備を受けたのかを確認可能。
- ✓ 他にも所有者履歴として過去のオーナー数、各所有者の登録州、保有期間等を確認可能。

出所: CAR FAX社ホームページ

(参考)海外調査(ヒアリング)先概要



会社名	Total Car Check
場所	ヘメル・ヘムステッド
設立年	2013
売上	170百万円
従業員数	NA
事業所数	NA
提供サービス	■ 中古自動車履歴の有料調査サービス ✓ 所有者情報 ✓ 車両情報 ✓ 事故情報 ✓ 盗難情報 ✓ 災害情報 等
ホームページ	http://totalcarcheck.co.uk/

出所: Total Car Check社ホームページ



トレーサビリティ・サービスで提供を受けたい情報項目に係る アンケート調査結果

デロイトトーマツコンサルティング株式会社



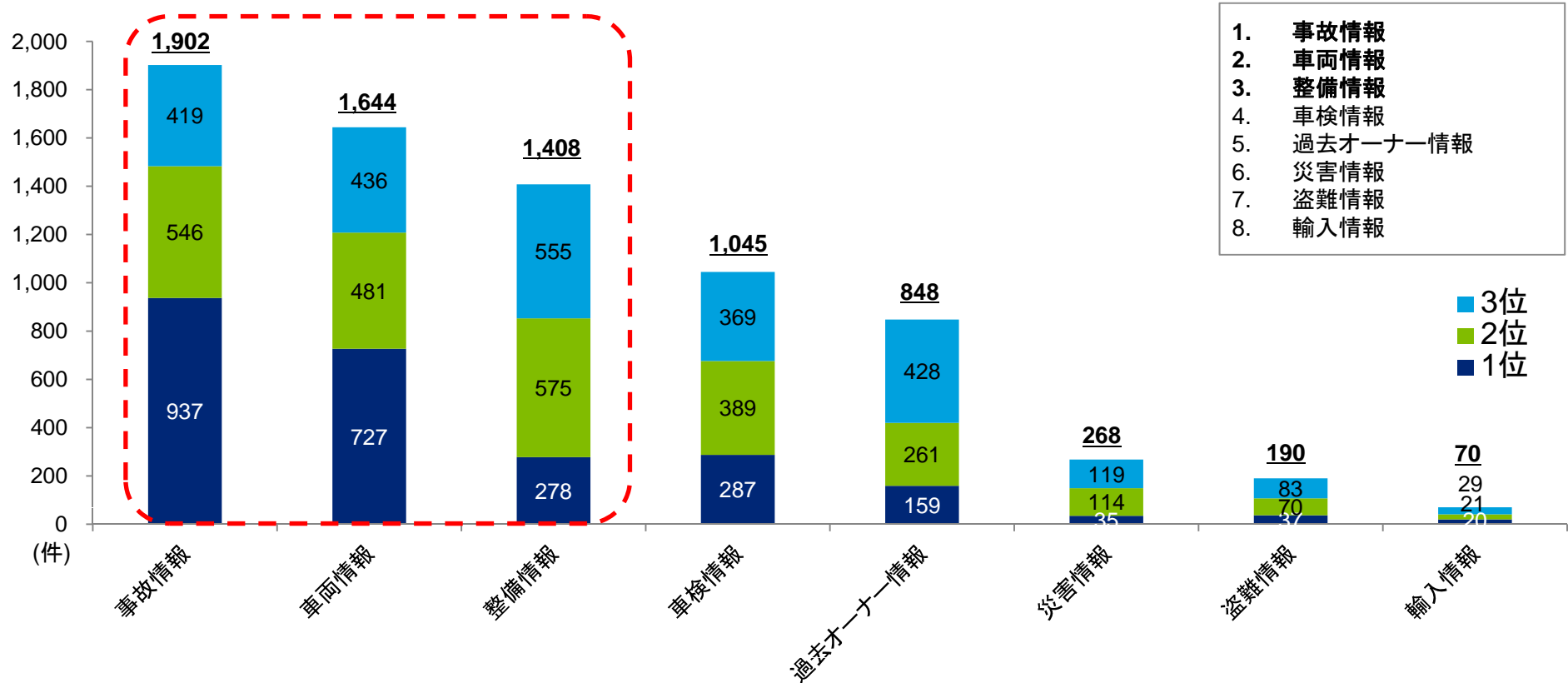
設問1-1: 中古車購入時の後押しとなる情報のニーズ

分析

■ 「中古車を保有している、保有していた」者、もしくは「中古車の購入を検討したことがある」者が中古車購入の後押しとなる情報として求める情報は、「**事故情報**」、「**車両情報**」、「**整備情報**」の順である。

質問

問: どの情報があれば中古車購入時の後押しになると思いますか? (3つまで選択、N=2,480)



設問1-2: 中古車購入時の後押しとなる詳細情報のニーズ① (事故情報、車両情報)

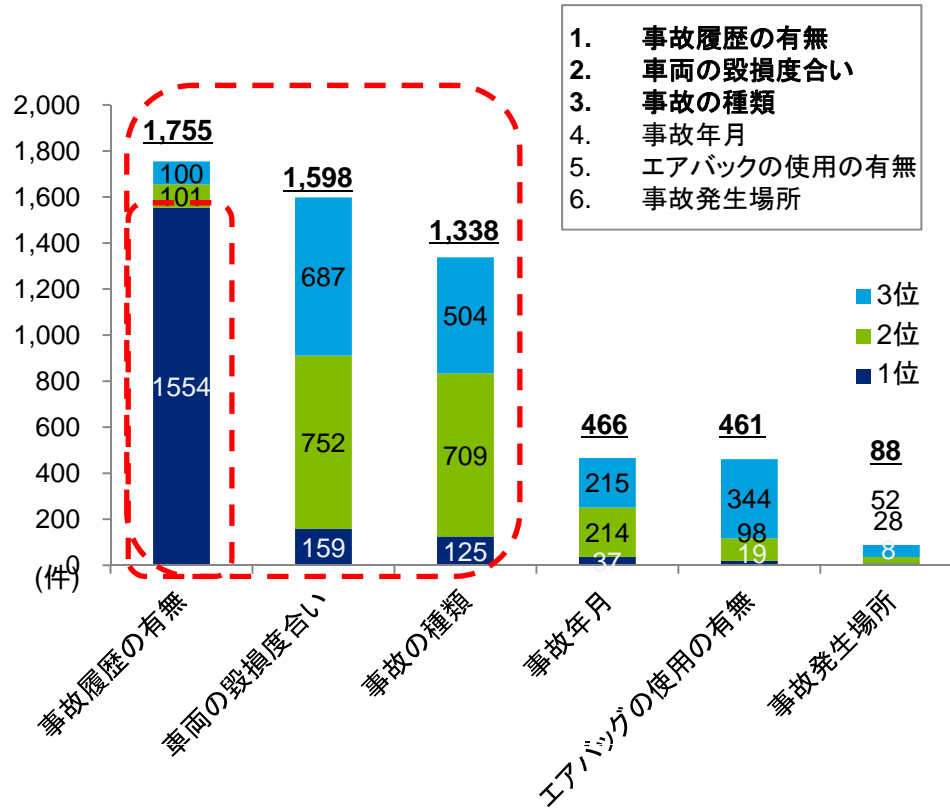
【事故情報】

分析

■ 中古車購入時の後押しとなる情報で**事故情報**を選択した者が事故情報として求める情報は、「**事故履歴の有無**」、「**車両の毀損度合い**」、「**事故の種類**」の順である。その中でも「**事故履歴の有無**」については、**8割以上の回答者が1位**を選択した。

質問

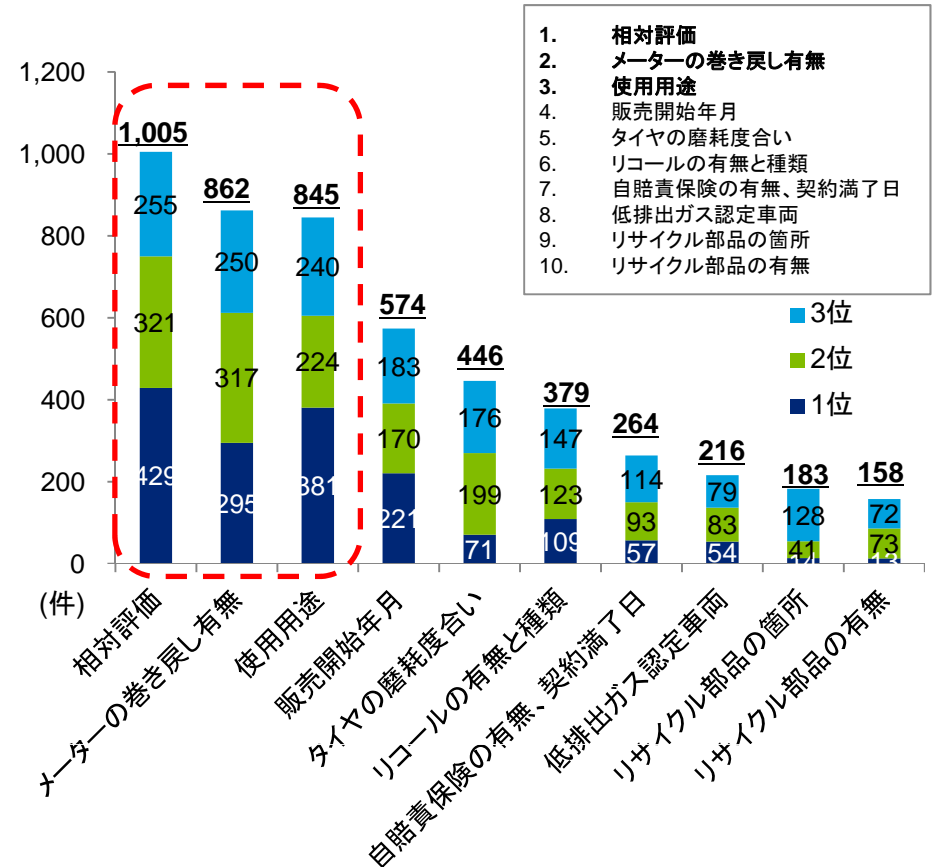
問: **事故情報**のうち、中古車購入の後押しとなる具体的な情報内容は何ですか？(3つまで選択、N=1,902)



【車両情報】

■ 中古車購入時の後押しとなる情報で**車両情報**を選択した方が車両情報として求める情報は、「**相対評価**」、「**メーター巻き戻し有無**」、「**使用用途**」の順である。

問: **車両情報**のうち、中古車購入の後押しとなる具体的な情報内容は何ですか？(3つまで選択、N=1,644)

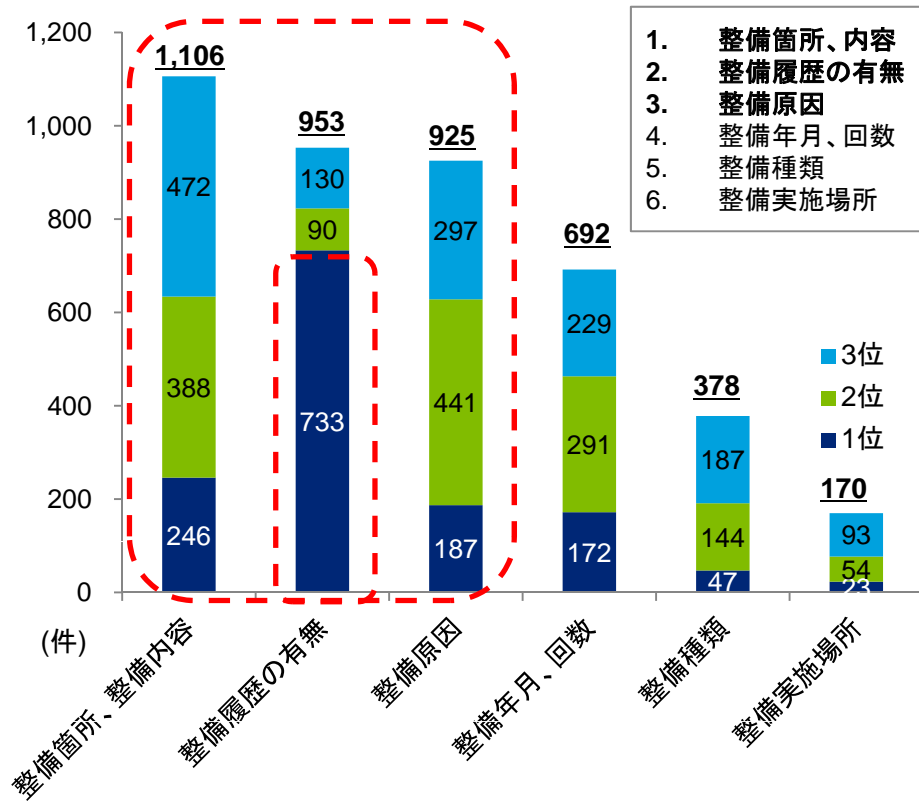


設問1-3: 中古車購入時の後押しとなる詳細情報のニーズ② (整備情報、車検情報)

【整備情報】

分析 ■ 中古車購入時の後押しとなる情報で整備情報を選択した者が整備情報で求める情報は、「整備箇所、整備内容」、「整備履歴の有無」、「整備原因」の順である。その中でも5割弱の方が「整備履歴の有無」を1位を選択した。

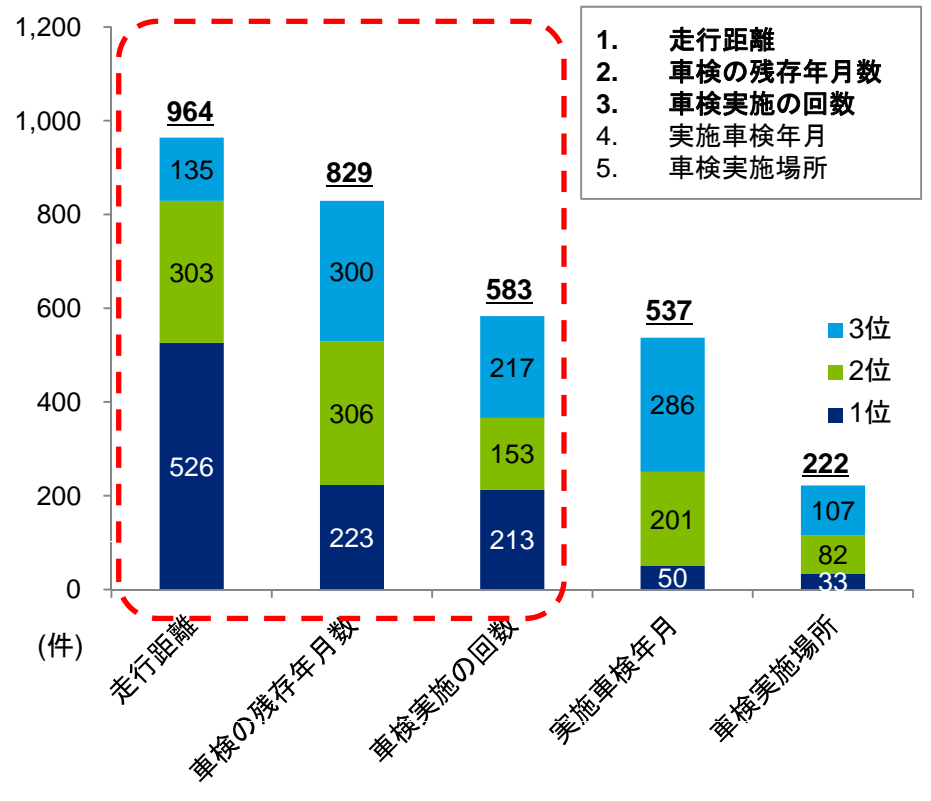
質問 問: 整備情報のうち、中古車購入の後押しとなる具体的な情報内容は何ですか？(3つまで選択、N=1,480)



【車検情報】

■ 中古車購入時の後押しとなる情報で車検情報を選択した者が車検情報で求める情報は、「走行距離」、「車検の残存年月数」、「車検実施の回数」の順である。

問: 車検情報のうち、中古車購入の後押しとなる具体的な情報内容は何ですか？(3つまで選択、N=1,045)



設問1-4: 中古車購入時の後押しとなる詳細情報のニーズ③ (過去オーナー情報、災害情報)

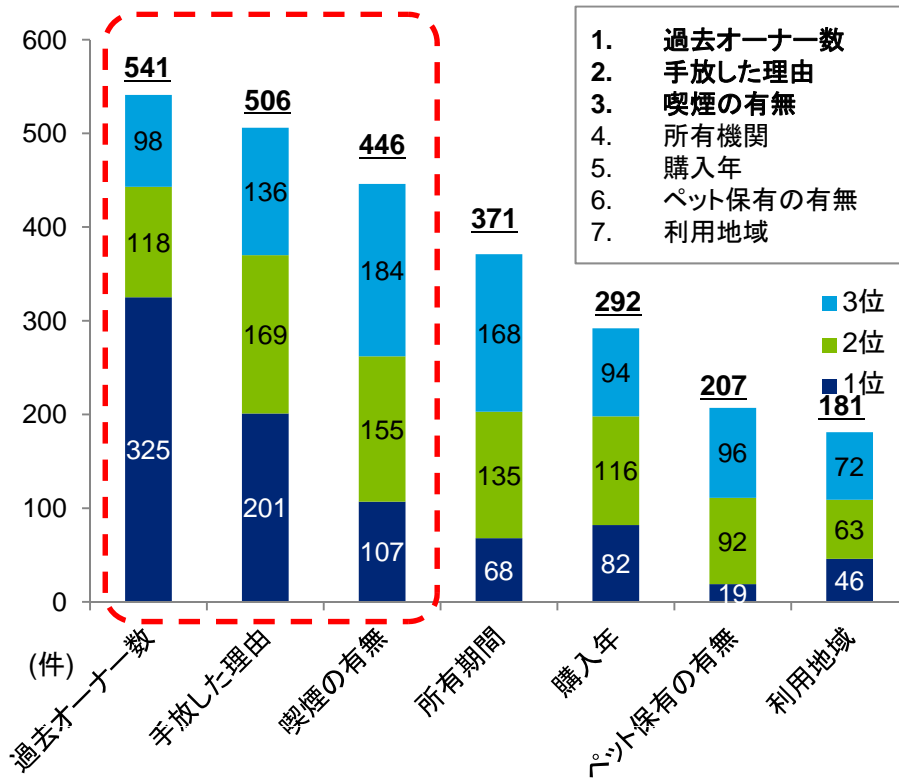
【過去オーナー情報】

分析

■ 中古車購入時の後押しとなる情報で過去オーナー情報を選択した者が過去オーナー情報で求める情報は、「**過去オーナー数**」、「**手放した理由**」、「**喫煙の有無**」の順である。

質問

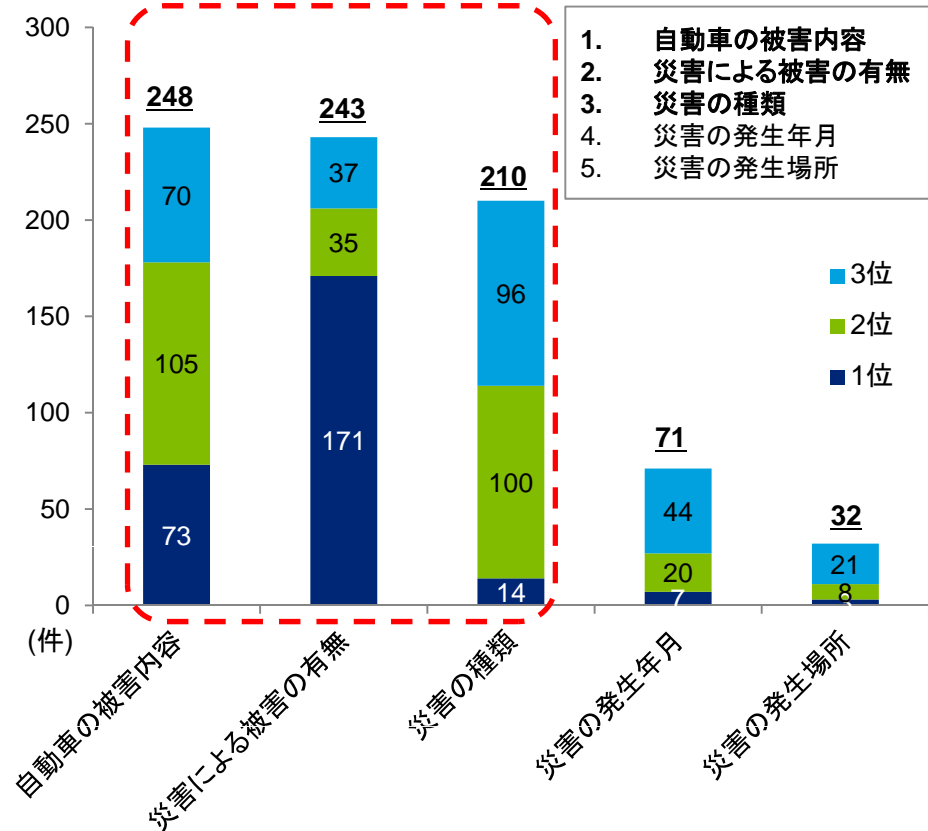
問: 過去オーナー情報のうち、中古車購入の後押しとなる具体的な情報内容は何ですか？(3つまで選択、N=848)



【災害情報】

■ 中古車購入時の後押しとなる情報で災害情報を選択した者が災害情報で求める情報は、「**自動車の被害内容**」、「**災害による被害の有無**」、「**災害の種類**」の順である。

問: 災害情報のうち、中古車購入の後押しとなる具体的な情報内容は何ですか？(3つまで選択、N=268)



設問1-5: 中古車購入時の後押しとなる詳細情報のニーズ④ (盗難情報、輸入情報)

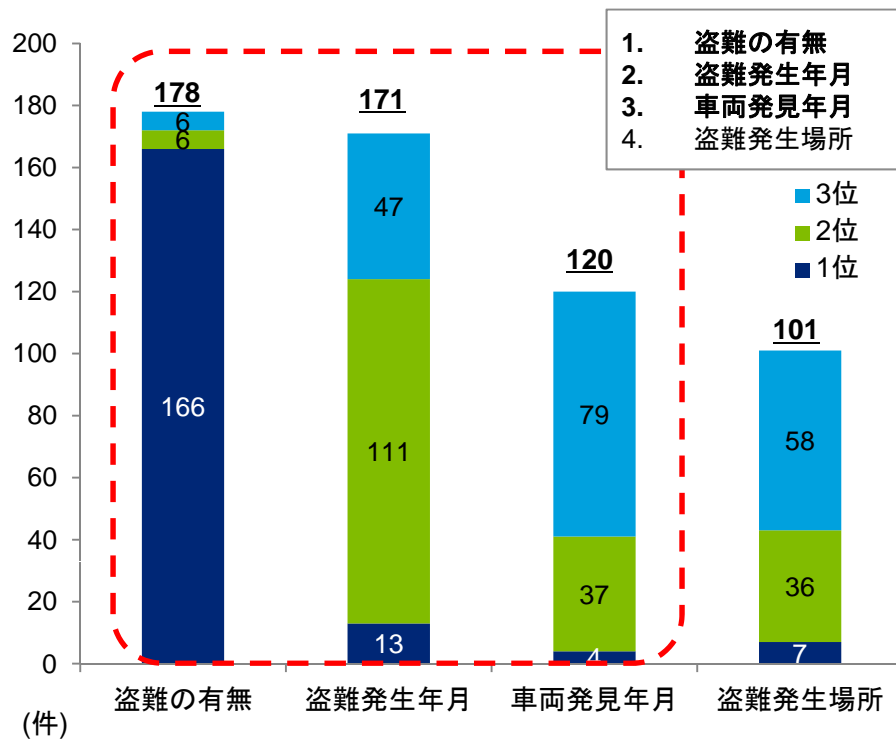
【盗難情報】

分析

■ 中古車購入時の後押しとなる情報で盗難情報を選択した者が盗難情報で求める情報は、「盗難の有無」、「盗難発生年月」、「車両発見年月」の順である。

質問

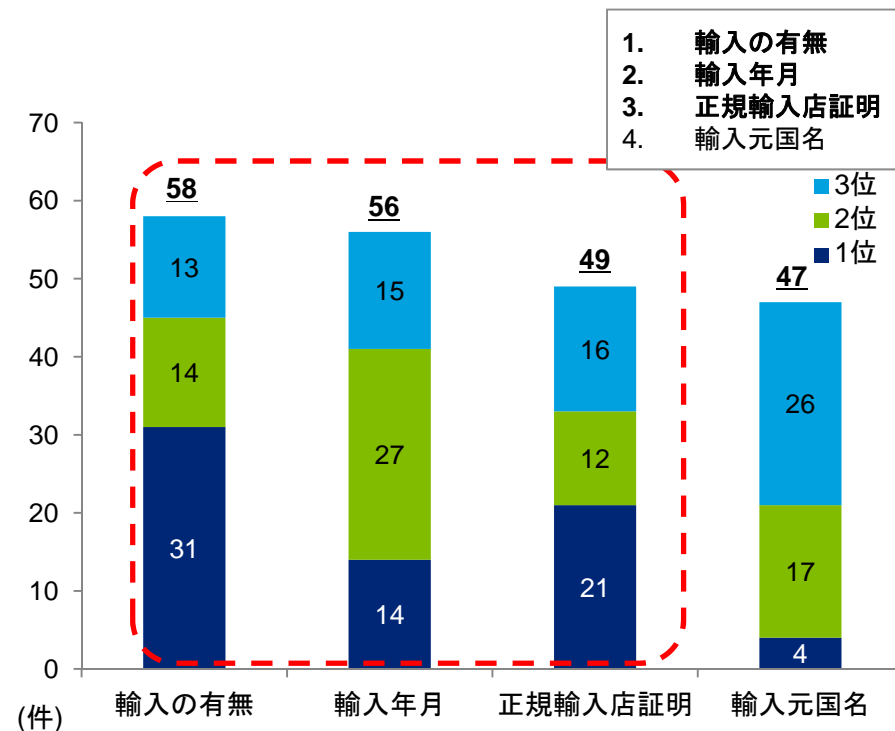
問: 盗難情報のうち、中古車購入の後押しとなる具体的な情報内容は何か？(3つまで選択、N=190)



【輸入情報】

■ 中古車購入時の後押しとなる情報で輸入情報を選択した者が輸入情報で求める情報は、「輸入の有無」、「輸入年月」、「正規輸入店証明」の順である。

問: 輸入情報のうち、中古車購入の後押しとなる具体的な情報内容は何か？(3つまで選択、N=70)



設問1-6: 中古車購入時の後押しとなる情報のニーズ(1位回答と2位回答の頻度)

分析

- 1位回答と2位回答の関係性を見ると、「**事故情報×車両情報**」、「**車両情報×事故情報**」、「**事故情報×整備情報**」、「**車両情報×整備情報**」へのニーズが高くなっている。

質問

問: どの情報があれば中古車購入時の後押しになるとお考えですか？(3つまで選択、N=2,480)

1位回答

2位回答

	車両情報	車検情報	輸入情報	過去オーナー情報	整備情報	事故情報	災害情報	盗難情報	計
車両情報		80	4	32	77	282	3	3	481
車検情報	159		6	18	51	151	3	1	389
輸入情報	6	5		0	2	7	1	0	21
過去オーナー情報	62	23	1		31	135	1	8	261
整備情報	210	66	3	46		236	9	5	575
事故情報	258	100	4	53	98		16	17	546
災害情報	18	6	0	4	5	78		3	114
盗難情報	8	5	0	6	8	42	1		70
回答なし	6	2	2	0	6	6	1	0	23
計	727	287	20	159	278	937	35	37	2480

設問1-7: 中古車購入時の後押しとなる詳細情報のニーズ① (1位:事故情報×2位:車両情報における詳細情報の頻度)

分析

- 「事故情報」では、「**事故履歴の有無**」、「車両情報」では、「**使用用途**」、「**相対評価**」、「**メーター巻き戻し有無**」、「**販売開始年月**」へのニーズが高くなっている。

質問

問: どの情報があれば中古車購入時の後押しになると思いますか? (3つまで選択、N=282)

1位事故情報

	事故履歴の有無	事故年月	事故発生場所	事故の種類	車両の毀損度合い	エアバッグの使用の有無	計
使用用途	52	1	0	5	0	2	60
低排出ガス認定車両	5	0	0	0	0	0	5
リコールの有無と種類	22	0	1	2	1	0	26
タイヤの磨耗度合い	9	0	0	1	1	0	11
相対評価	55	1	0	5	7	0	68
メーター巻き戻し有無	56	0	0	8	3	0	67
自賠償保険	7	0	0	0	0	0	7
販売開始年月	31	0	0	2	2	0	35
リサイクル部品の有無	1	0	0	0	0	0	1
リサイクル部品の箇所	2	0	0	0	0	0	2
計	240	2	1	23	14	2	282

2位車両情報

設問1-8: 中古車購入時の後押しとなる詳細情報のニーズ② (1位:車両情報×2位:事故情報における詳細情報の頻度)

分析

- 「事故情報」では、「事故履歴の有無」、「車両情報」では、「使用用途」、「相対評価」、「メーター巻き戻し有無」、「販売開始年月」へのニーズが高くなっている。

質問

問:どの情報があれば中古車購入時の後押しになると思いますか？(3つまで選択、N=258)

1位車両情報

2位事故情報

	使用用途	低排出 ガス認定 車両	リコール の有無と 種類	タイヤの 磨耗 度合い	相対評価	メーター 巻き戻し 有無	自賠責保 険	販売 開始 年月	リサイクル 部品の 有無	リサイクル 部品の 箇所	計
事故履歴の有無	40	7	9	3	76	45	10	27	1	0	218
事故年月	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	3
事故発生場所	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
事故の種類	4	0	2	1	2	2	1	2	0	0	14
車両の毀損度合い	5	1	1	1	7	4	1	0	0	1	21
エアバッグの使用の有無	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
計	51	8	12	6	87	51	12	29	1	1	258

設問1-9: 中古車購入時の後押しとなる詳細情報のニーズ③ (1位:事故情報×2位:整備情報における詳細情報の頻度)

分析

- 「事故情報」では、「事故履歴の有無」、「車両の毀損度合い」、「整備情報」では、「整備履歴の有無」、「整備年月、回数」、「整備箇所、内容」へのニーズが高くなっている。

質問

問: どの情報があれば中古車購入時の後押しになると思いますか? (3つまで選択、N=236)

1位事故情報

	事故履歴の有無	事故年月	事故発生場所	事故の種類	車両の毀損度合い	エアバッグの使用の有無	計
整備履歴の有無	115	0	0	4	2	1	122
整備年月、回数	18	2	0	4	3	0	27
整備実施場所	3	0	0	0	1	0	4
整備種類	4		0	3	4	0	11
整備原因	16	2	0	8	5	1	32
整備箇所、内容	21	0	0	8	11	0	40
計	177	4	0	27	26	2	236

2位整備情報

設問1-10: 中古車購入時の後押しとなる詳細情報のニーズ④ (1位:車両情報×2位:整備情報における詳細情報の頻度)

分析

- 「車両情報」では、「**使用用途**」、「**相対評価**」、「**販売開始年月**」、「整備情報」では、「**整備履歴の有無**」、「**整備箇所、内容**」へのニーズが高くなっている。

質問

問:どの情報があれば中古車購入時の後押しになると思いますか？(3つまで選択、N=210)

1位車両情報

	使用用途	低排出ガス認定車	リコールの有無と種類	タイヤの磨耗度合い	相対評価	メーター巻き戻し有無	自賠償保険	販売開始年月	リサイクル部品の有無	リサイクル部品の箇所	計	
2位整備情報	整備履歴の有無	39	0	9	5	37	8	3	18	2	0	121
	整備年月・回数	2	2	3	1	8	3	0	1	0	0	20
	整備実施場所	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	3
	整備種類	1		1	0	0	1	0	0	0	0	3
	整備原因	1	1	1	0	7	4	0	3	0	3	20
	整備箇所、内容	10	0	3	2	14	3	4	6	0	1	43
	計	54	3	17	8	67	19	7	29	2	4	210

設問2-1:レポート購入に対する意識調査

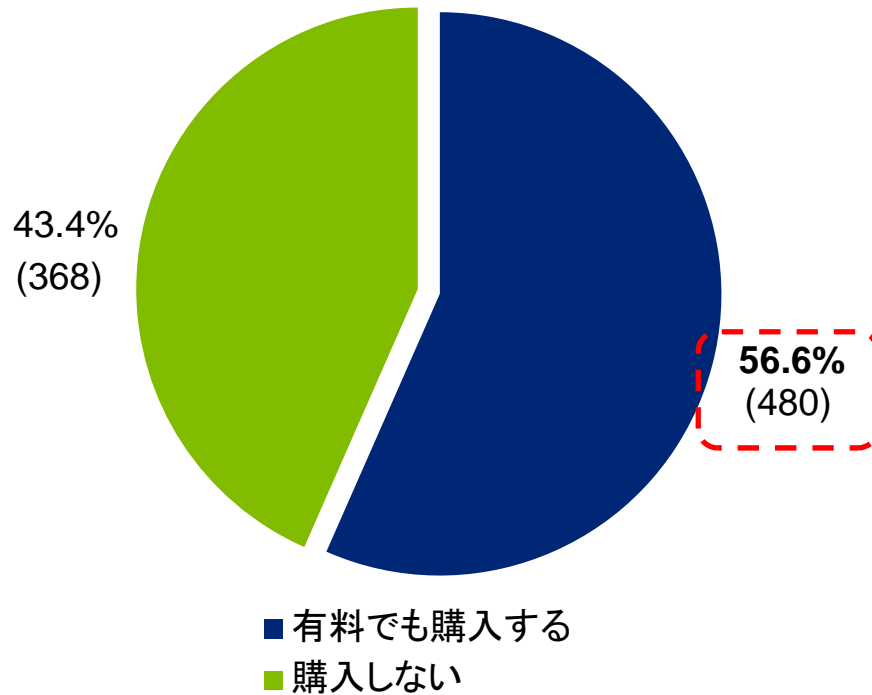
分析

■ レポート購入に対する意識調査について、「**中古車購入の検討はしたが保有経験のない者**」は「中古車の保有経験のある者」と比較して、トレーサビリティサービスで提供されるレポートの**購入意向が1割ほど高い**。

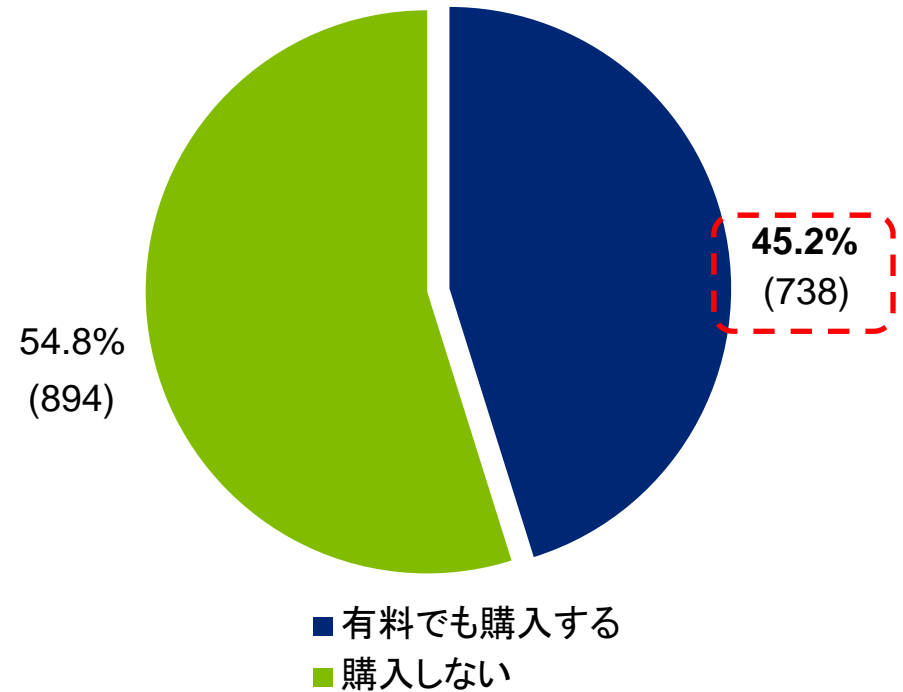
質問

問: 選択した情報を掲載したレポートを、有料でも購入したいと思いますか? (択一、N=2,480)

①中古車購入の検討はしたが保有経験のない層
(N=848)



②中古車の保有経験のある層
(N=1,632)



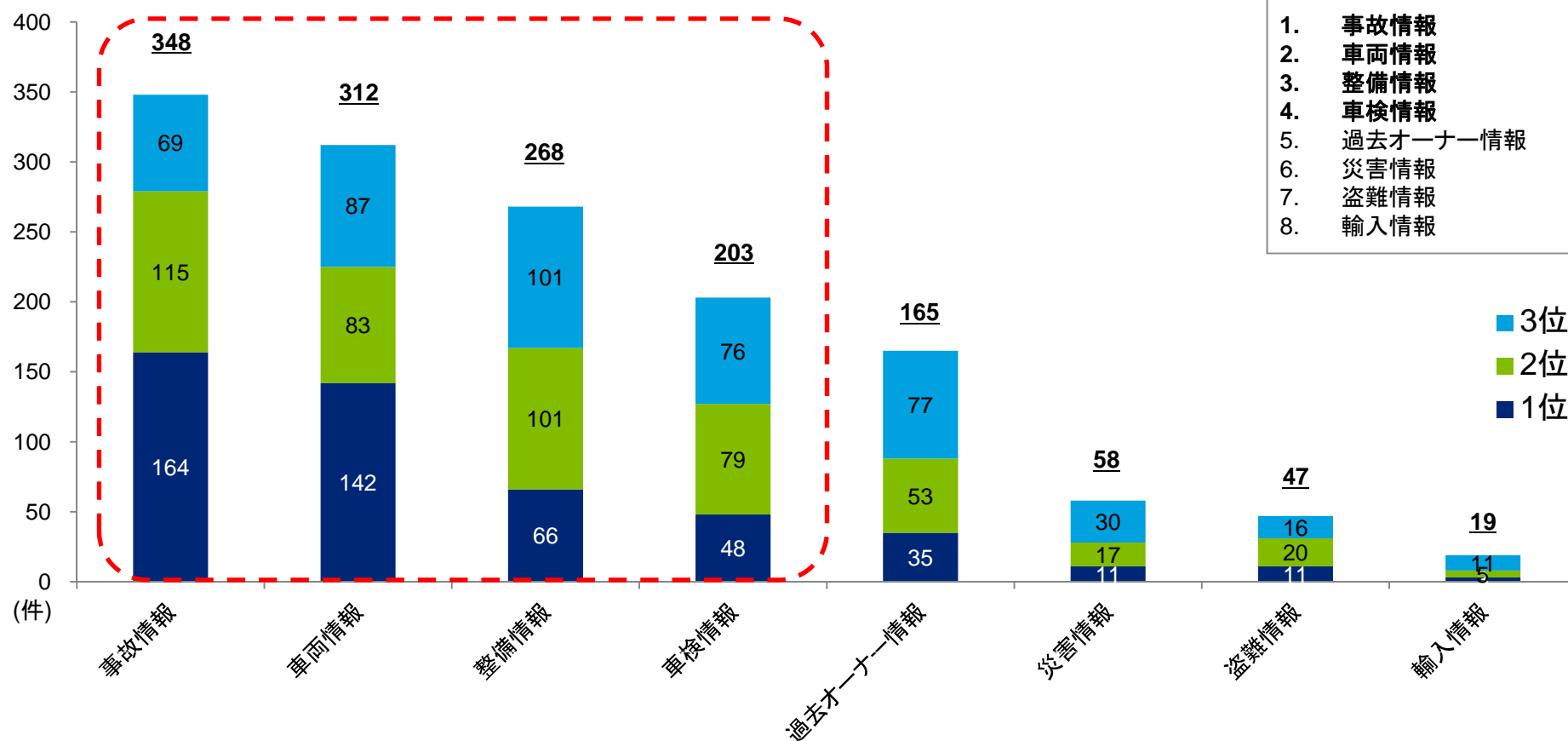
設問2-2: 「①中古車の購入検討をしたが保有経験がない層」でレポートを購入する層(56.6%)の情報項目のニーズ

分析

■ 「事故情報」、「車両情報」、「整備情報」、「車検情報」に対するニーズが高くなっている。

質問

問: どの情報があれば中古車購入時の後押しにしたいと思いますか? (3つまで選択、N=480)



設問2-3: 「①中古車の購入検討をしたが保有経験がない層」でレポートを購入する層(56.6%)の詳細情報のニーズ①(事故情報、車両情報)

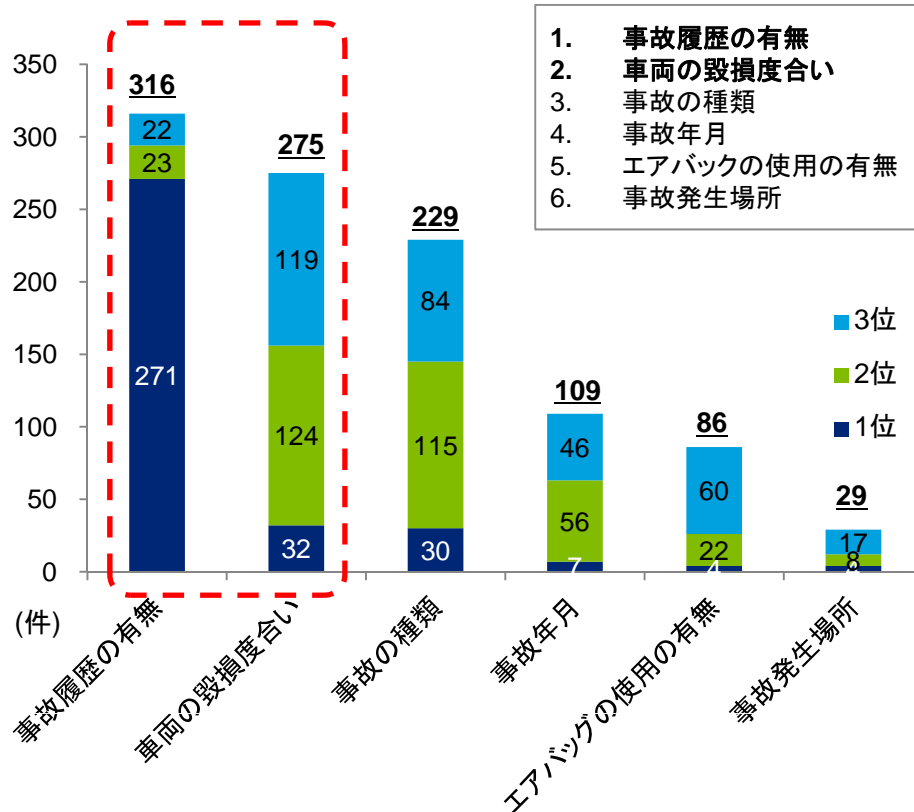
【事故情報】

分析

- 事故情報の中では、「**事故履歴の有無**」、「**車両の毀損度合い**」に対するニーズが高くなっている。

質問

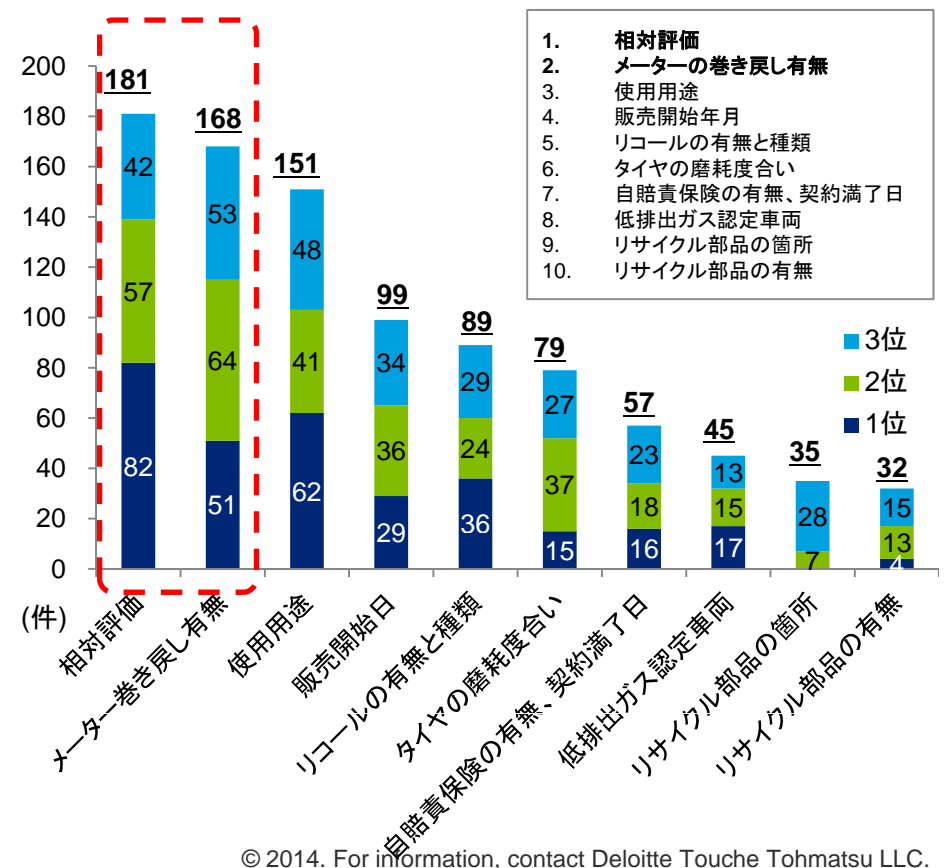
問: 事故情報のうち、中古車購入の後押しとなる具体的な情報内容は何か? (3つまで選択、N=348)



【車両情報】

- 車両情報の中では、「**相対評価**」、「**メーター巻き戻し有無**」に対するニーズが高くなっている。

問: 車両情報のうち、中古車購入の後押しとなる具体的な情報内容は何か? (3つまで選択、N=312)



設問2-4: 「①中古車の購入検討をしたが保有経験がない層」でレポートを購入する層(56.6%)の詳細情報のニーズ②(整備情報、車検情報)

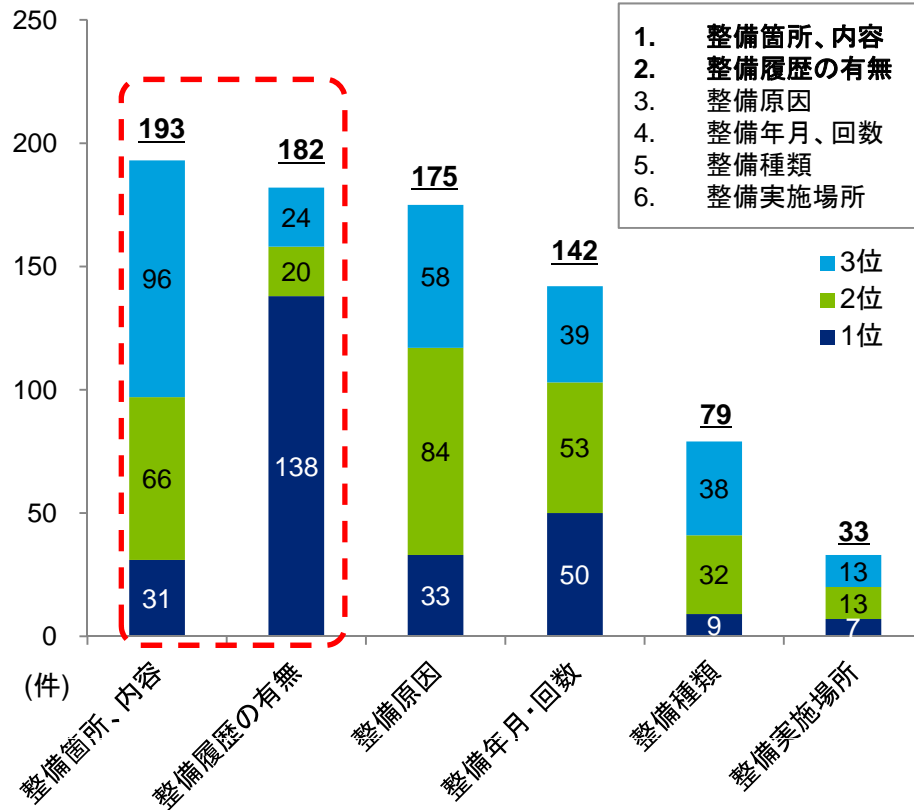
【整備情報】

分析

- 整備情報の中では、「整備箇所、内容」、「整備履歴の有無」に対するニーズが高くなっている。

質問

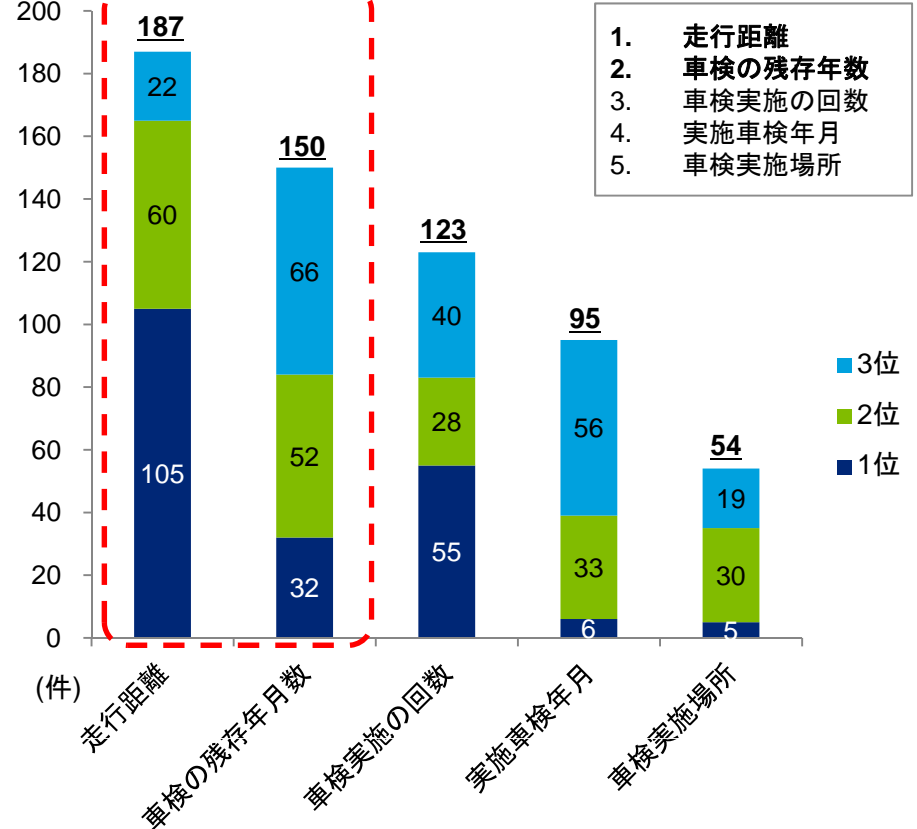
問: 整備情報のうち、中古車購入の後押しとなる具体的な情報内容は何か?(3つまで選択、N=268)



【車検情報】

- 車検情報の中では、「走行距離」、「車検の残存年月数」に対するニーズが高くなっている。

問: 車検情報のうち、中古車購入の後押しとなる具体的な情報内容は何か?(3つまで選択、N=203)



設問2-5: 「①中古車の購入検討をしたが保有経験がない層」でレポートを購入する層(56.6%)の詳細情報のニーズ③(過去オーナー情報、災害情報)

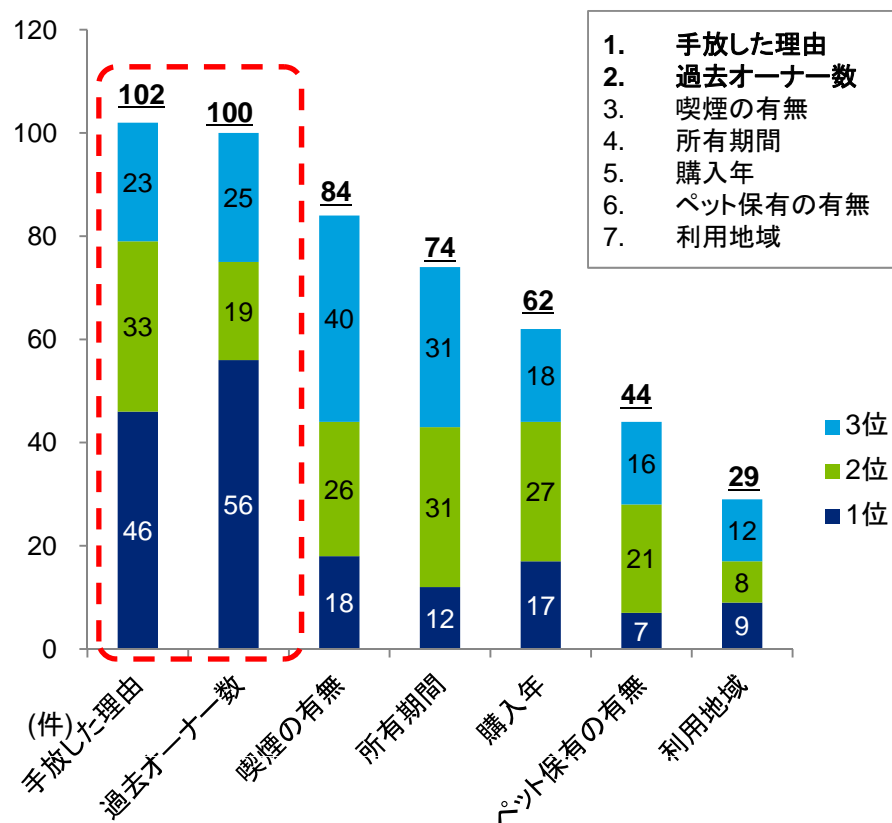
【過去オーナー情報】

分析

- 過去オーナー情報の中では、「**手放した理由**」、「**過去オーナー数**」に対するニーズが高くなっている。

質問

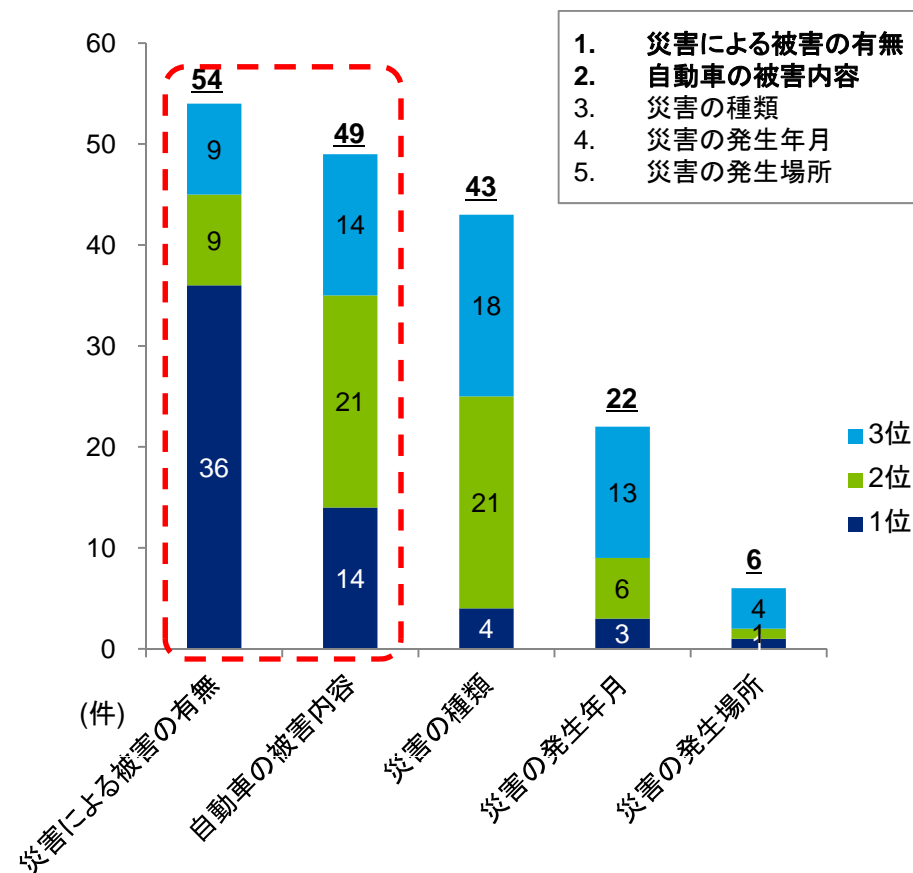
問: 過去オーナー情報のうち、中古車購入の後押しとなる具体的な情報内容は何ですか? (3つまで選択、N=165)



【災害情報】

- 災害情報の中では、「**災害による被害の有無**」、「**自動車の被害内容**」に対するニーズが高くなっている。

問: 災害情報のうち、中古車購入の後押しとなる具体的な情報内容は何ですか? (3つまで選択、N=58)



設問2-6: 「①中古車の購入検討をしたが保有経験がない層」でレポートを購入する層(56.6%)の詳細情報のニーズ④(盗難情報、輸入情報)

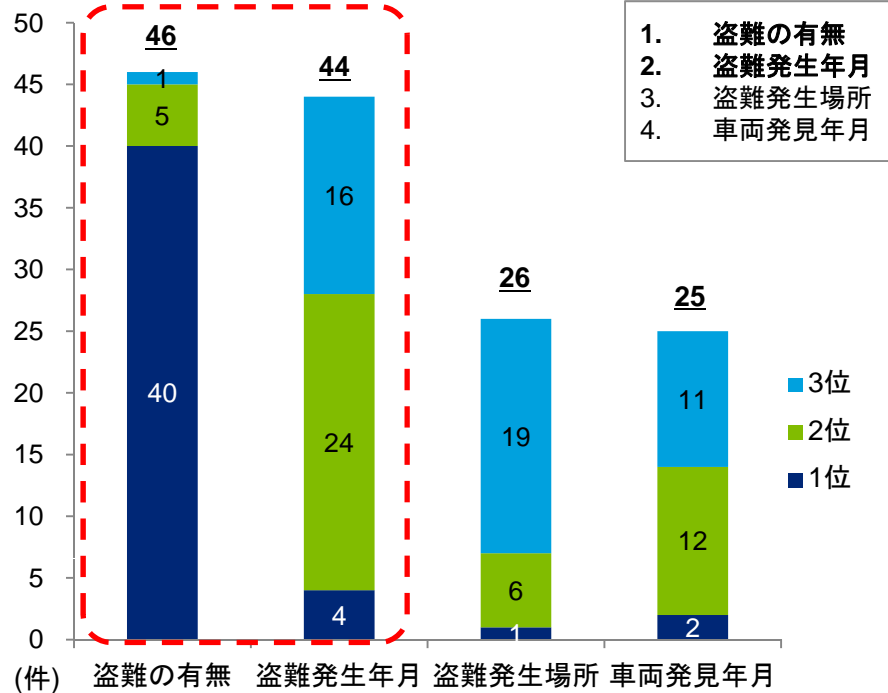
【盗難情報】

分析

- 盗難情報の中では、「盗難の有無」、「盗難発生年月」に対するニーズが高くなっている。

質問

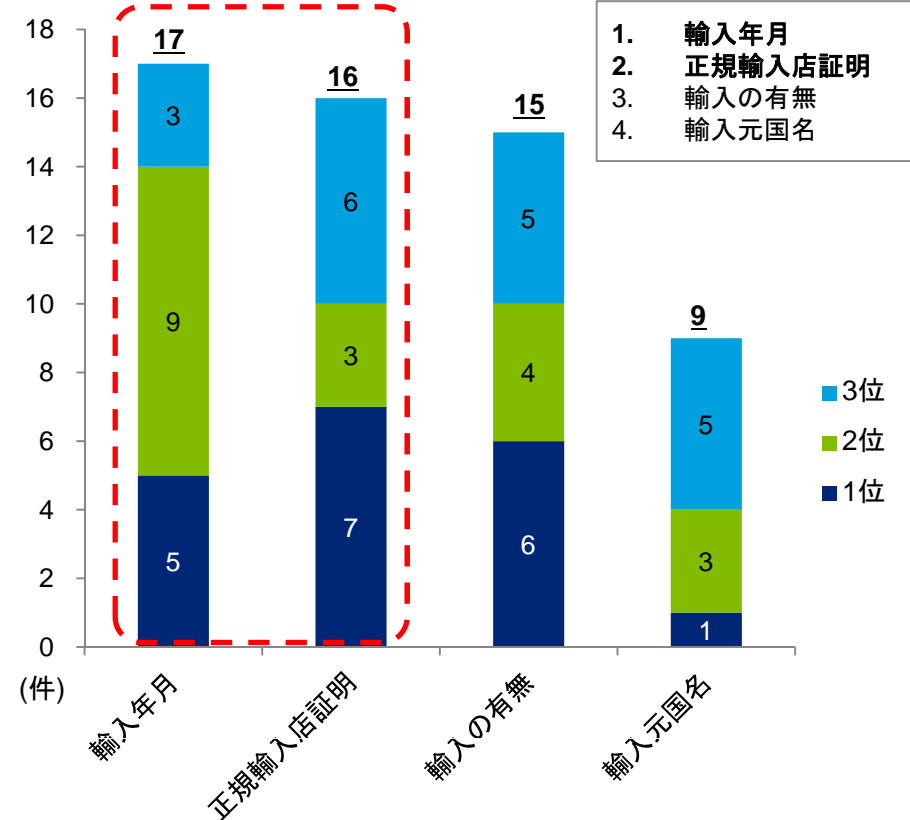
問: 盗難情報のうち、中古車購入の後押しとなる具体的な情報内容は何か? (3つまで選択、N=47)



【輸入情報】

- 輸入情報の中では、「輸入年月」、「正規輸入店証明」に対するニーズが高くなっている。

問: 輸入情報のうち、中古車購入の後押しとなる具体的な情報内容は何か? (3つまで選択、N=19)



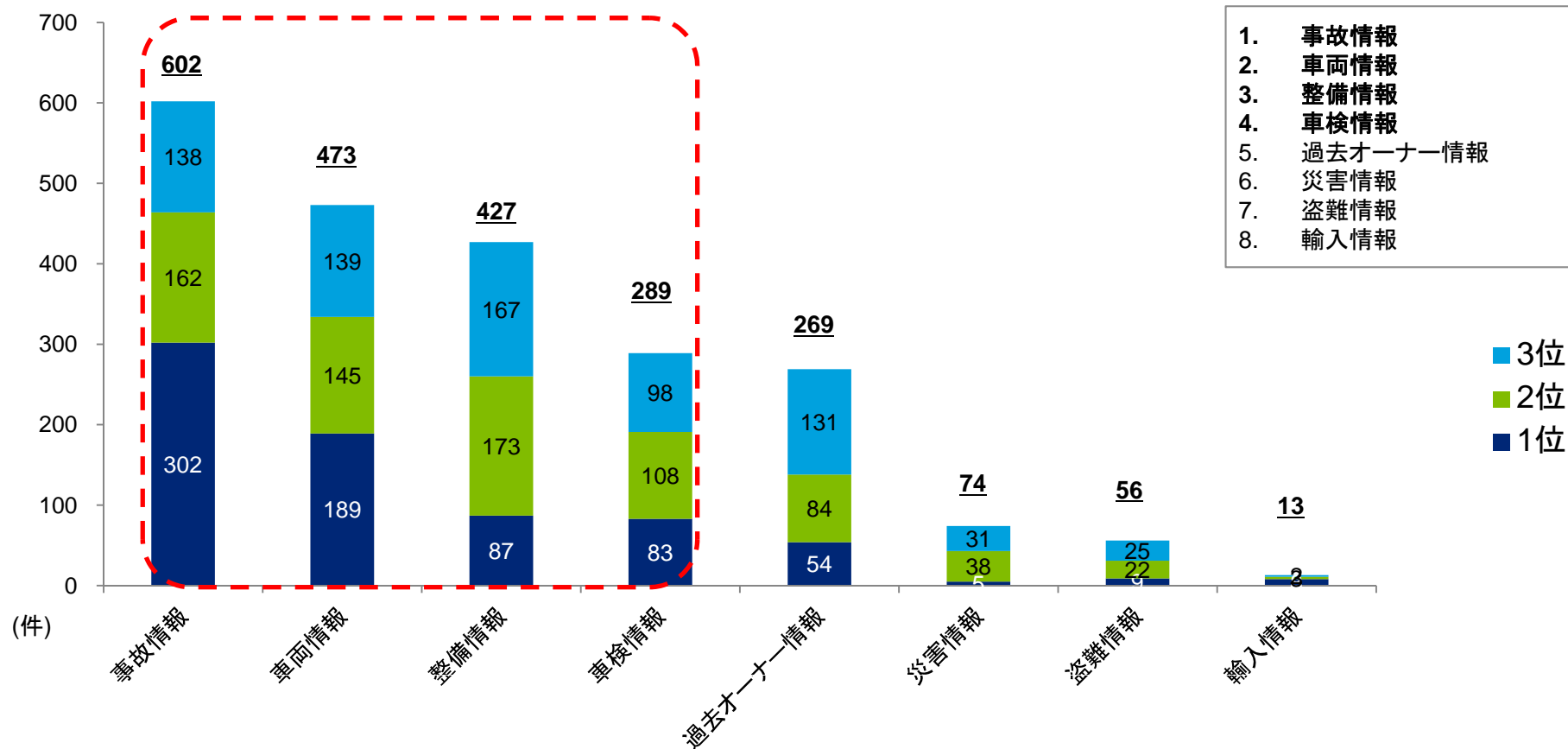
設問2-7: 「②中古車の保有経験のある層」でレポートを購入する層(45.2%)の情報項目のニーズ

分析

■ 「事故情報」、「車両情報」、「整備情報」、「車検情報」に対するニーズが高くなっている。

質問

問: どの情報があれば中古車購入時の後押しになるとお考えですか? (3つまで選択、N=737)



設問2-8: 「②中古車の保有経験のある層」でレポートを購入する層(45.2%)の詳細情報のニーズ①(事故情報、車両情報)

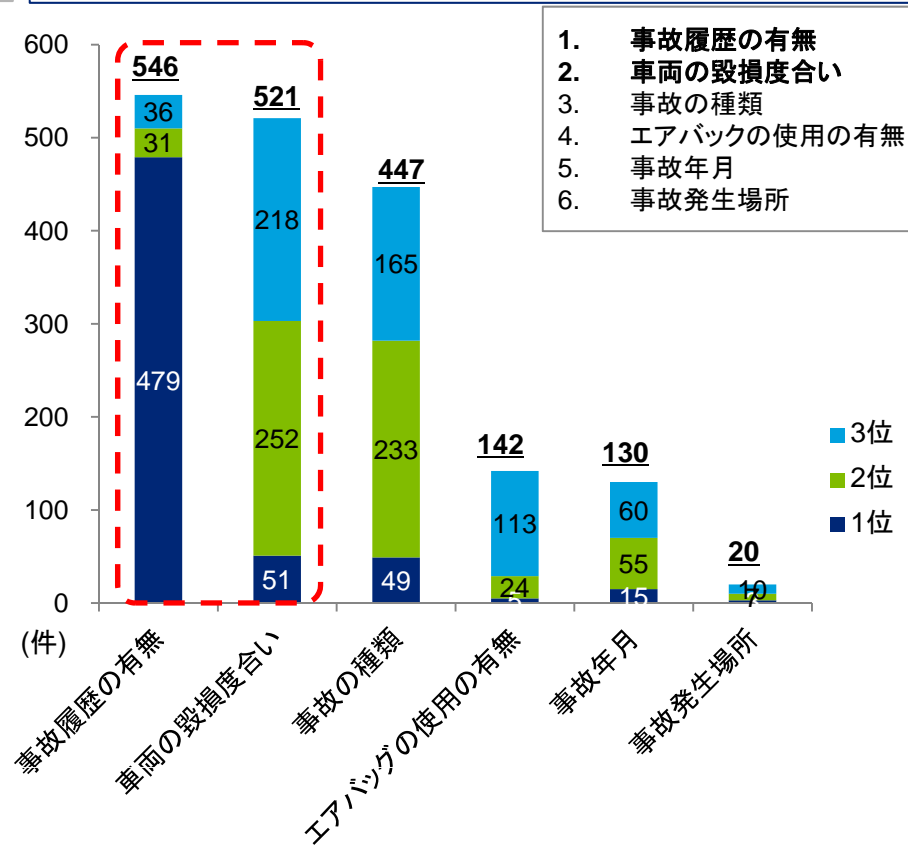
【事故情報】

分析

- 事故情報の中では、「事故履歴の有無」「車両の毀損度合い」に対するニーズが高くなっている。

質問

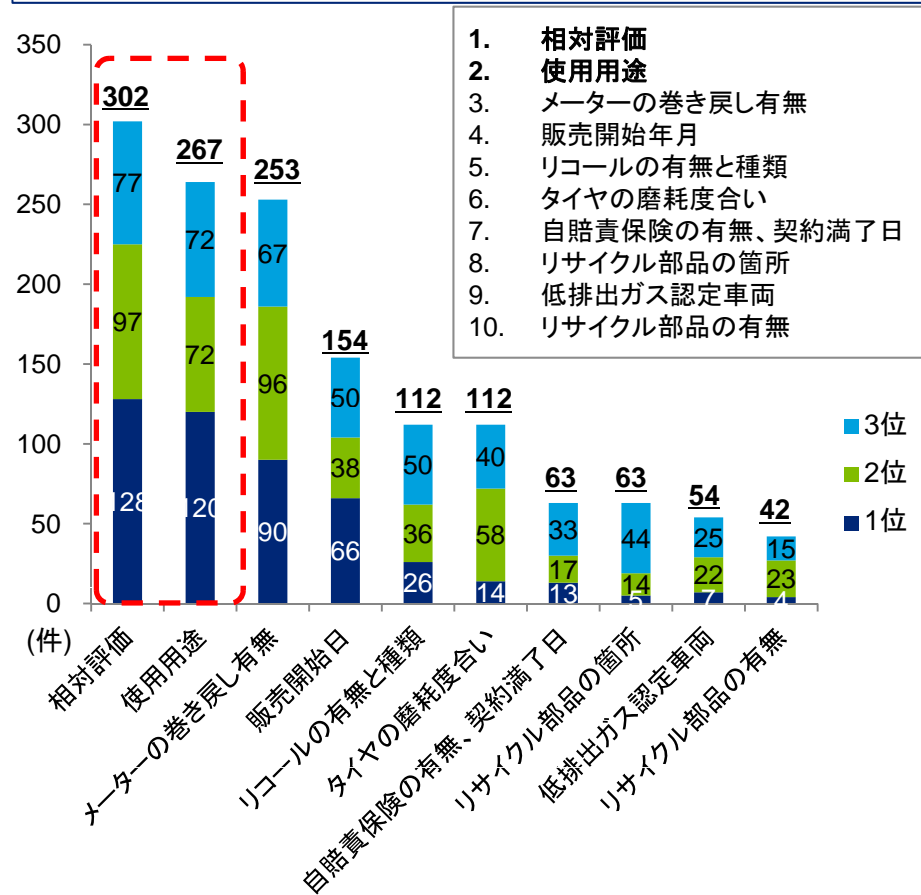
問: 事故情報のうち、中古車購入の後押しとなる具体的な情報内容は何ですか？(3つまで選択、N=602)



【車両情報】

- 車両情報の中では、「相対評価」「使用用途」に対するニーズが高くなっている。

問: 車両情報のうち、中古車購入の後押しとなる具体的な情報内容は何ですか？(3つまで選択、N=473)



設問2-9: 「②中古車の保有経験のある層」でレポートを購入する層(45.2%)の詳細情報のニーズ②(整備情報、車検情報)

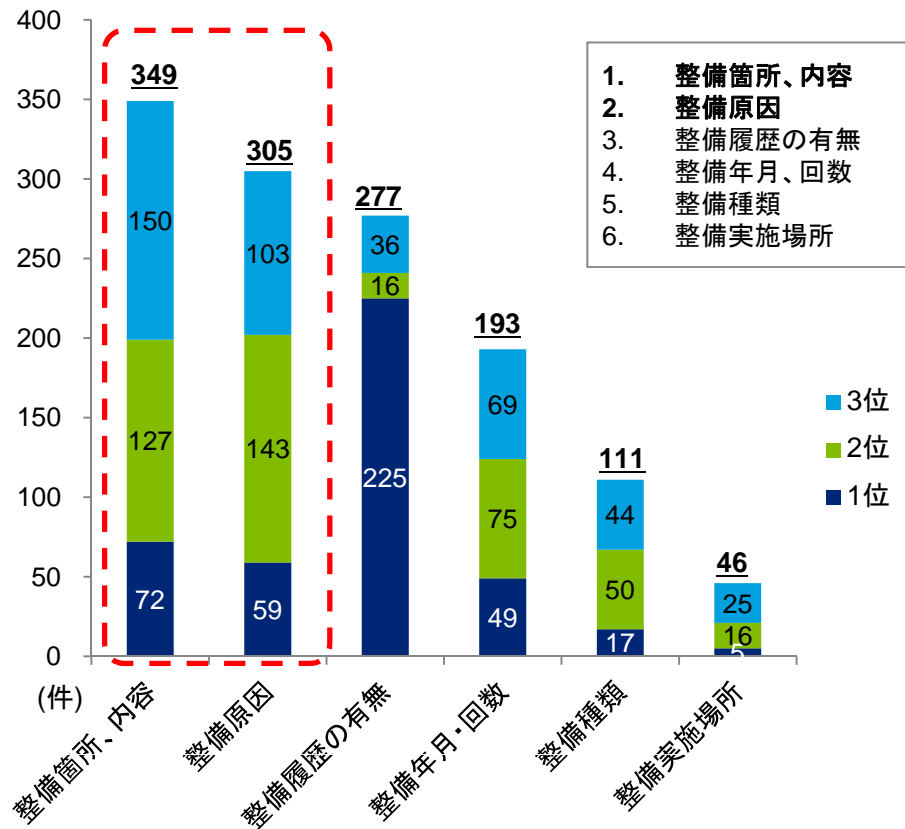
【整備情報】

分析

■ 整備情報の中では、「**整備箇所、内容**」、「**整備原因**」に対するニーズが高くなっている。

質問

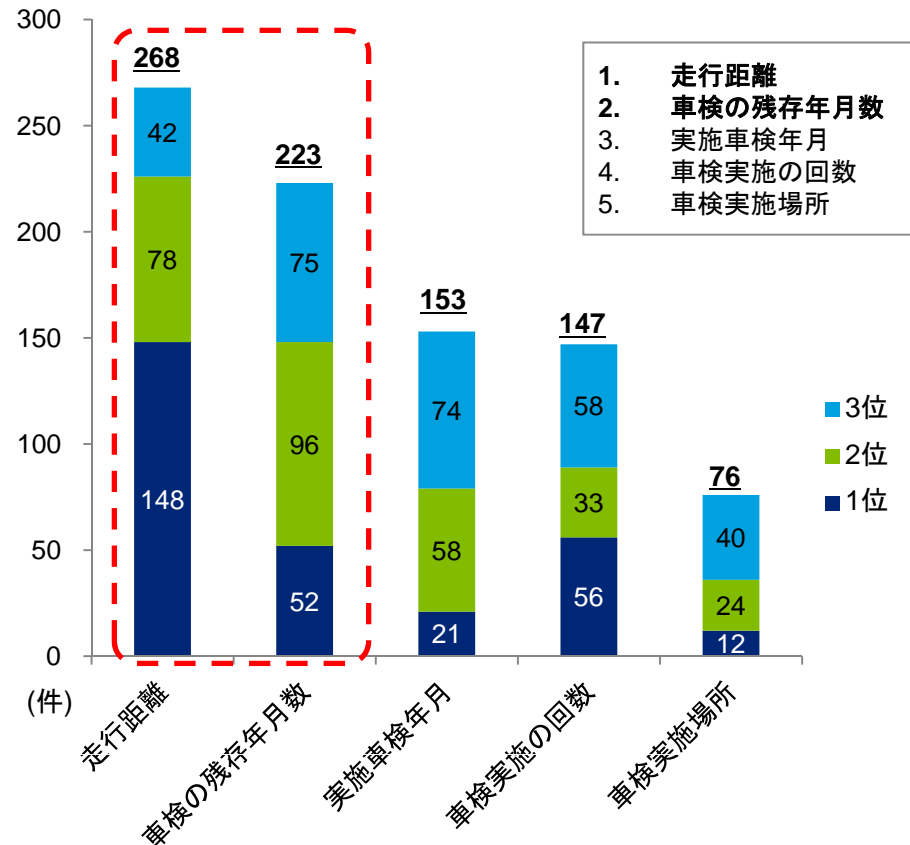
問: 整備情報のうち、中古車購入の後押しとなる具体的な情報内容は何か?(3つまで選択、N=427)



【車検情報】

■ 車検情報の中では、「**走行距離**」、「**車検の残存年月数**」に対するニーズが高くなっている。

問: 車検情報のうち、中古車購入の後押しとなる具体的な情報内容は何か?(3つまで選択、N=289)



設問2-10: 「②中古車の保有経験のある層」でレポートを購入する層(45.2%)の詳細情報のニーズ③(過去オーナー情報、災害情報)

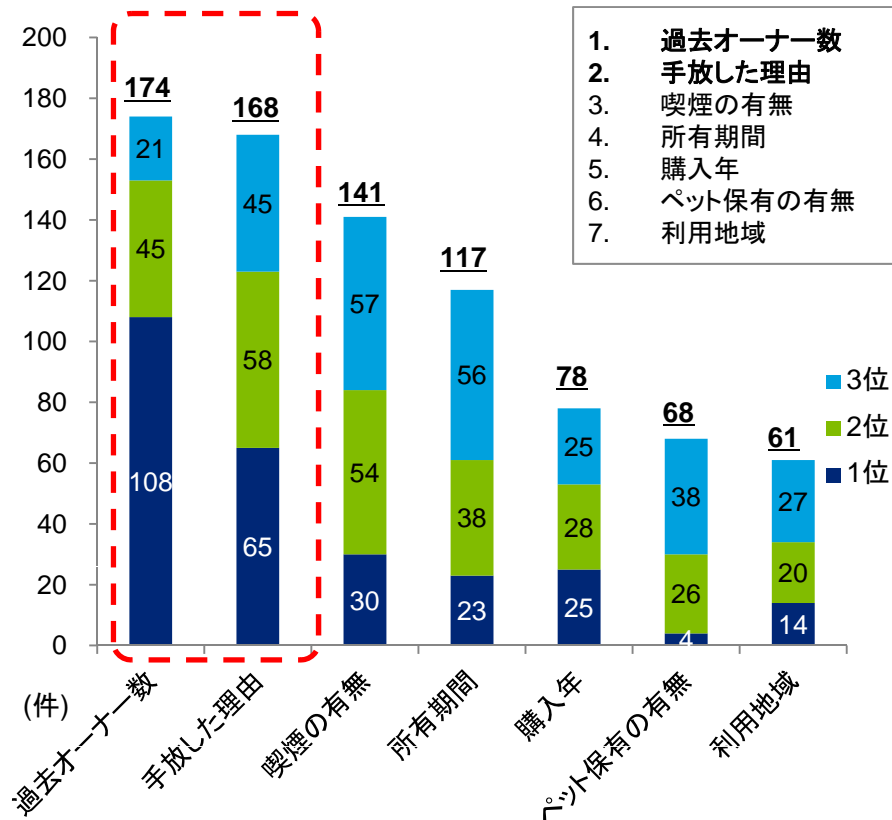
【過去オーナー情報】

分析

- 過去オーナー情報の中では、「**過去オーナー数**」、「**手放した理由**」に対するニーズが高くなっている。

質問

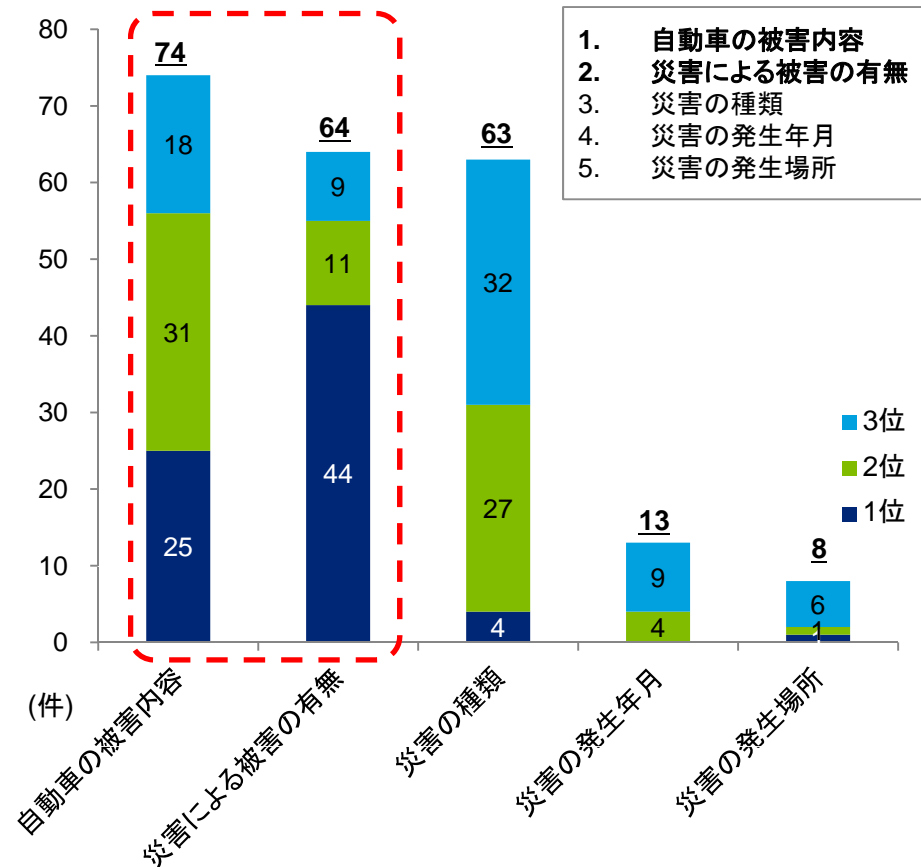
問: 過去オーナー情報のうち、中古車購入の後押しとなる具体的な情報内容は何ですか？(3つまで選択、N=269)



【災害情報】

- 災害情報の中では、「**自動車の被害内容**」、「**災害による被害の有無**」に対するニーズが高くなっている。

問: 災害情報のうち、中古車購入の後押しとなる具体的な情報内容は何ですか？(3つまで選択、N=74)



設問2-11: 「②中古車の保有経験のある層」でレポートを購入する層(45.2%)の詳細情報のニーズ④(盗難情報、輸入情報)

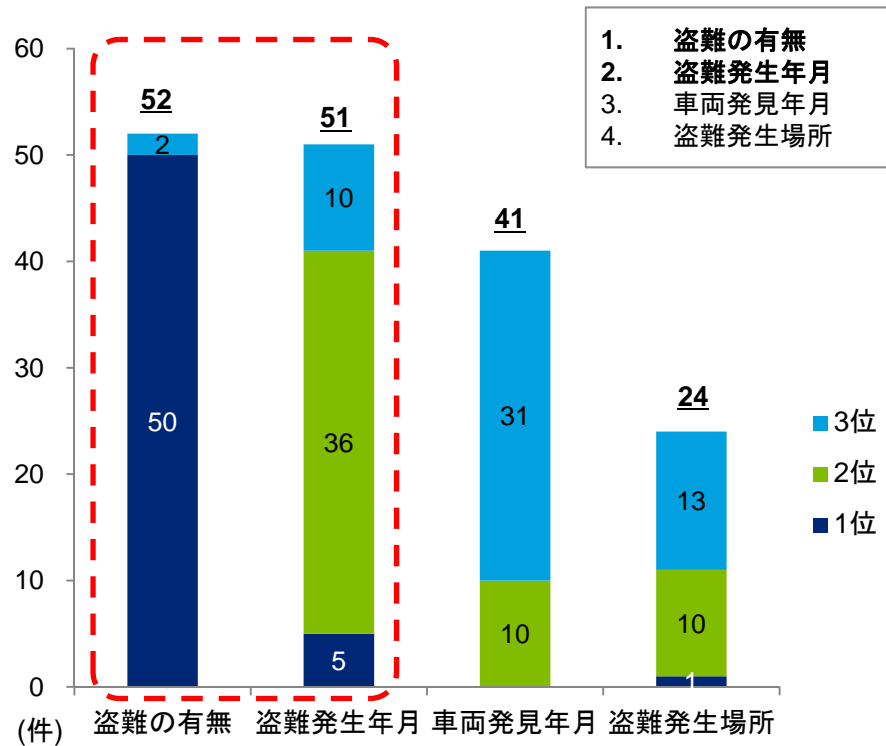
【盗難情報】

分析

- 盗難情報の中では、「盗難の有無」、「盗難発生年月」に対するニーズが高くなっている。

質問

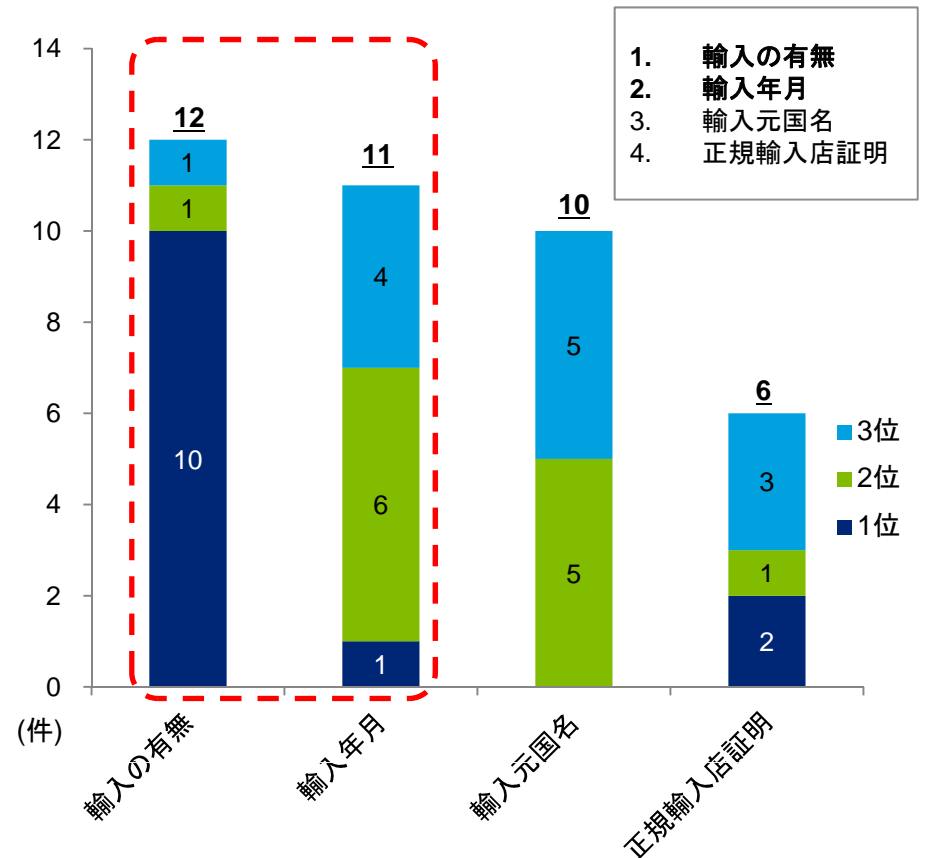
問: 盗難情報のうち、中古車購入の後押しとなる具体的な情報内容は何か?(3つまで選択、N=56)



【輸入情報】

- 輸入情報の中では、「輸入の有無」、「輸入年月」に対するニーズが高くなっている。

問: 輸入情報のうち、中古車購入の後押しとなる具体的な情報内容は何か?(3つまで選択、N=13)



設問2-12:レポート購入に対する意識調査 (①層の有料でも購入する回答者)の1位回答と2位回答の頻度)

分析

- ①層の1位回答と2位回答の関係性を見ると、「**車両情報×事故情報**」、「**事故情報×車両情報**」、「**車両情報×整備情報**」、「**事故情報×整備情報**」へのニーズが高くなっている。

質問

問:どの情報があれば中古車購入時の後押しになるとお思いますか？(3つまで選択、①層(N=480))

		1位回答								
		車両情報	車検情報	輸入情報	過去オーナー情報	整備情報	事故情報	災害情報	盗難情報	計
2位回答	車両情報		14	2	6	19	42			83
	車検情報	32			5	11	29	1	1	79
	輸入情報	1					3	1		5
	過去オーナー情報	14	3			9	25		2	53
	整備情報	31	15		7		44	3	1	101
	事故情報	56	11	1	14	21		5	7	115
	災害情報	3	1		2		11			17
	盗難情報	2	4		1	4	9			20
	回答なし	3				2	1	1		7
	計	142	48	3	35	66	164	11	11	480

設問2-13:レポート購入に対する意識調査 (②層の「有料でも購入する回答者」の1位回答と2位回答の頻度)

分析

- ②層の1位回答と2位回答の関係性を見ると、「**車両情報×事故情報**」、「**事故情報×車両情報**」、「**車両情報×整備情報**」、「**事故情報×整備情報**」へのニーズが高くなっている。

質問

問:どの情報があれば中古車購入時の後押しになるとお考えですか？(3つまで選択、右②層(N=737))

		1位回答								
		車両情報	車検情報	輸入情報	過去オーナー情報	整備情報	事故情報	災害情報	盗難情報	計
2位回答	車両情報		18	1	10	24	90	1	1	145
	車検情報	39		4	4	18	42	1		108
	輸入情報	1	1				1			3
	過去オーナー情報	13	9			10	49		3	84
	整備情報	57	18	1	21		75		1	173
	事故情報	73	34	2	16	32		3	2	162
	災害情報	4	2		1	1	28		2	38
	盗難情報	1			2	2	17			22
	回答なし	1	1							2
	計	189	83	8	54	87	302	5	9	737

設問2-14:レポート購入に対する意識調査(①層) (1位:車両情報×2位:事故情報における詳細情報の頻度)

分析

- 1位「車両情報」2位「事故情報」の回答者は、「車両情報」では「**相対評価**」、「**メーター巻き戻し有無**」、「事故情報」では「**事故履歴の有無**」へのニーズが高くなっている。

質問

問:どの情報があれば中古車購入時の後押しになるとお思いますか？(3つまで選択、①層(N=56))

1位車両情報

2位事故情報

	使用用途	低排出ガス 認定車	リコールの 有無	タイヤの磨 耗度合い	相対評価	メーター巻 き戻し有無	自賠責 保険	販売 開始日	リサイクル 部品の有無	リサイクル 部品の箇所	計
事故履歴 の有無	6	2	4	2	18	10	4	2			48
事故年月											0
事故発生 場所											0
事故の種類	1		1		1			1			4
車両の毀損 度合い	1			1	1	1					4
エアバッグの 使用の有無											0
計	8	2	5	3	20	11	4	3	0	0	56

設問2-15:レポート購入に対する意識調査(①層) (1位:事故情報×2位:車両情報における詳細情報の頻度)

分析

- 1位「事故情報」2位「車両情報」の回答者は、「事故情報」では「事故履歴の有無」、「車両情報」では「リコールの有無」、「使用用途」へのニーズが高くなっている。

質問

問:どの情報があれば中古車購入時の後押しになると思いますか？(3つまで選択、①層(N=42))

1位事故情報

	事故履歴の有無	事故年月	事故発生場所	事故の種類	車両の毀損度合い	エアバッグの使用の有無	計
使用用途	8			1			9
低排出ガス認定車	1						1
リコールの有無と種類	10			1			11
タイヤの磨耗度合い	1						1
相対評価	5			1			6
メーター巻き戻し有無	5			4			9
自賠償保険	2						2
販売開始年月	3						3
リサイクル部品の有無							0
リサイクル部品の箇所							0
計	35	0	0	7	0	0	42

2位車両情報

設問2-16:レポート購入に対する意識調査(①層) (1位:事故情報×2位:整備情報における詳細情報の頻度)

分析

- 1位「事故情報」2位「整備情報」の回答者は、「事故情報」では「事故履歴の有無」、「整備情報」では「整備履歴の有無」へのニーズが高くなっている。

質問

問:どの情報があれば中古車購入時の後押しになると思いますか？(3つまで選択、①層(N=44))

1位事故情報

	事故履歴の有無	事故年月	事故発生場所	事故の種類	車両の毀損度合い	エアバッグの使用の有無	計
整備履歴の有無	24					1	25
整備年月、回数	5	1		1	1		8
整備実施場所					1		1
整備種類				1			1
整備原因	3			2	1		6
整備箇所、内容				2	1		3
計	32	1	0	6	4	1	44

2位整備情報

設問2-17:レポート購入に対する意識調査(①層) (1位:車両情報×2位:整備情報における詳細情報の頻度)

分析

- 1位「車両情報」2位「整備情報」の回答者は、「車両情報」では「**使用用途**」、「整備情報」では「**整備履歴の有無**」へのニーズが高くなっている。

質問

問:どの情報があれば中古車購入時の後押しになるとお思いますか？(3つまで選択、①層(N=31))

1位車両情報

2位整備情報

	使用用途	低排出ガス 認定車	リコールの 有無と種類	タイヤの磨 耗度合い	相対評価	メーター巻き 戻し有無	自賠償保険	販売開始日	リサイクル 部品の有無	リサイクル 部品の箇所	計
整備履歴の 有無	7		1		5	2	1	2	1		19
整備年月、 回数		1	1	1	3						6
整備実施 場所											0
整備種類											0
整備原因						1					1
整備箇所、 内容			1		2		2				5
計	7	1	3	1	10	3	3	2	1	0	31

設問2-18:レポート購入に対する意識調査(②層) (1位:車両情報×2位:事故情報における詳細情報の頻度)

分析

- 1位「車両情報」2位「事故情報」の回答者は、「車両情報」では「相対評価」、「メーター巻き戻しの有無」、「使用用途」、「事故情報」では「事故履歴の有無」へのニーズが高くなっている。

質問

問:どの情報があれば中古車購入時の後押しになるとお思いますか？(3つまで選択、②層(N=73))

		1位車両情報										
		使用用途	低排出ガス 認定車	リコールの有 無と種類	タイヤの磨耗 度合い	相対評価	メーター巻き 戻し有無	自賠責保険	販売開始 年月	リサイクル 部品の有無	リサイクル部 品の箇所	計
2 位 事 故 情 報	事故履歴の 有無	11	1	2		18	16	3	8	1		60
	事故年月											0
	事故発生場 所	1										1
	事故の種類	1			1	1	2	1	1			7
	車両の毀損 度合い	1		1		1	1					4
	エアバッグの 使用の有無	1										1
	計	15	1	3	1	20	19	4	9	1	0	73

設問2-19:レポート購入に対する意識調査(②層) (1位:事故情報×2位:車両情報における詳細情報の頻度)

分析

- 1位「事故情報」2位「車両情報」の回答者は、「事故情報」では「事故履歴の有無」、「車両情報」では「相対評価」、「使用用途」へのニーズが高くなっている。

質問

問:どの情報があれば中古車購入時の後押しになると思いますか？(3つまで選択、②層(N=90))

1位事故情報

	事故履歴の有無	事故年月	事故発生場所	事故の種類	車両の毀損度合い	エアバッグの使用の有無	計
使用用途	18	1		3		1	23
低排出ガス認定車							0
リコールの有無と種類	6						6
タイヤの磨耗度合い	1						1
相対評価	21	1		2	3		27
メーター巻き戻し有無	17			2	1		20
自賠償保険	2						2
販売開始年月	8			2			10
リサイクル部品の有無							0
リサイクル部品の箇所	1						1
計	74	2	0	9	4	1	90

2位車両情報

設問2-20:レポート購入に対する意識調査(②層) (1位:事故情報×2位:整備情報における詳細情報の頻度)

分析

- 1位「事故情報」2位「整備情報」の回答者は、「事故情報」では「事故履歴の有無」、「整備情報」では「整備履歴の有無」へのニーズが高くなっている。

質問

問:どの情報があれば中古車購入時の後押しになると思いますか？(3つまで選択、②層(N=75))

1位事故情報

	事故履歴の有無	事故年月	事故発生場所	事故の種類	車両の毀損度合い	エアバッグの使用の有無	計
整備履歴の有無	36			2	1		39
整備年月、回数	2	1		2	1		6
整備実施場所							0
整備種類					3		3
整備原因	4	1		5	2		12
整備箇所、内容	8			3	4		15
計	50	2	0	12	11	0	75

2位整備情報

設問2-21:レポート購入に対する意識調査(②層) (1位:車両情報×2位:整備情報における詳細情報の頻度)

分析

- 1位「車両情報」2位「整備情報」の回答者は、「車両情報」では「**使用用途**」、「**相対評価**」、整備情報では「**整備履歴の有無**」へのニーズが高くなっている。

質問

問:どの情報があれば中古車購入時の後押しになるとお思いますか？(3つまで選択、②層(N=57))

1位車両情報

2位整備情報

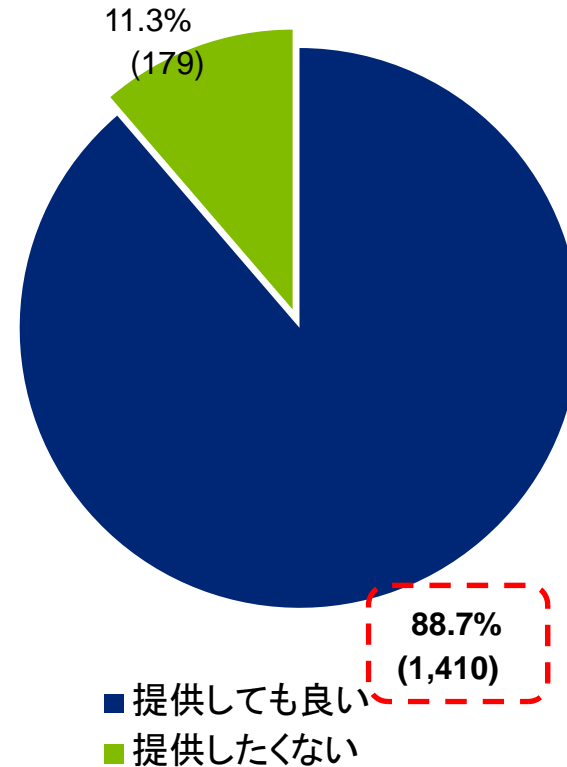
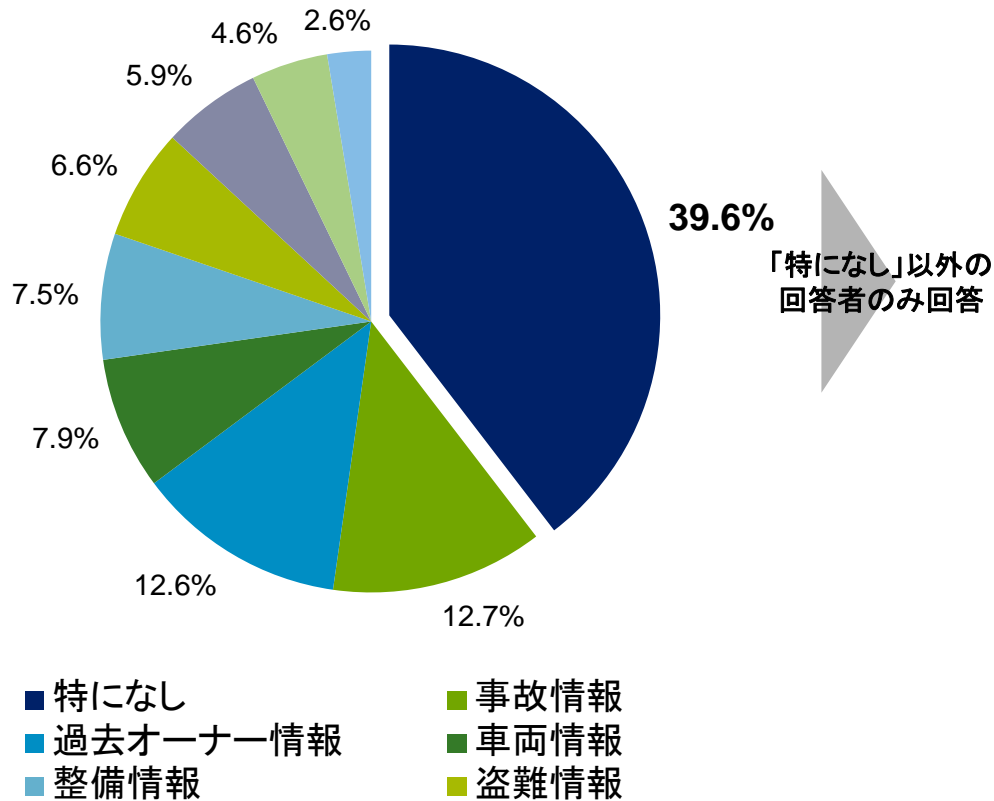
	使用用途	低排出ガス 認定車	リコールの 有無と種類	タイヤの磨 耗度合い	相対評価	メーター巻き 戻し有無	自賠責保険	販売開始 年月	リサイクル 部品の有無	リサイクル 部品の箇所	計
整備履歴の 有無	10		1		10	2		7			30
整備年月・回 数	1				3	1		1			6
整備実施場 所											0
整備種類						1					1
整備原因					2			2		2	6
整備箇所、 内容			2	1	8	1		2			14
計	11	0	3	1	23	5	0	12	0	2	57

設問3-1: 情報提供に対する意識調査

分析 ■ 「中古車を保有している、保有していた」者、もしくは「中古車の購入を検討したことがある」者の約4割が情報提供に対する抵抗はない。情報提供に抵抗があると回答した6割のうち約9割が経済的援助があれば情報提供の意向がある。

質問 問: レポートに情報提供することに抵抗のある情報項目は何ですか? (3つまで選択、N=2,480)

問: 経済的援助があれば情報提供しても良いと思いますか? (3つまで選択、N=1,589)



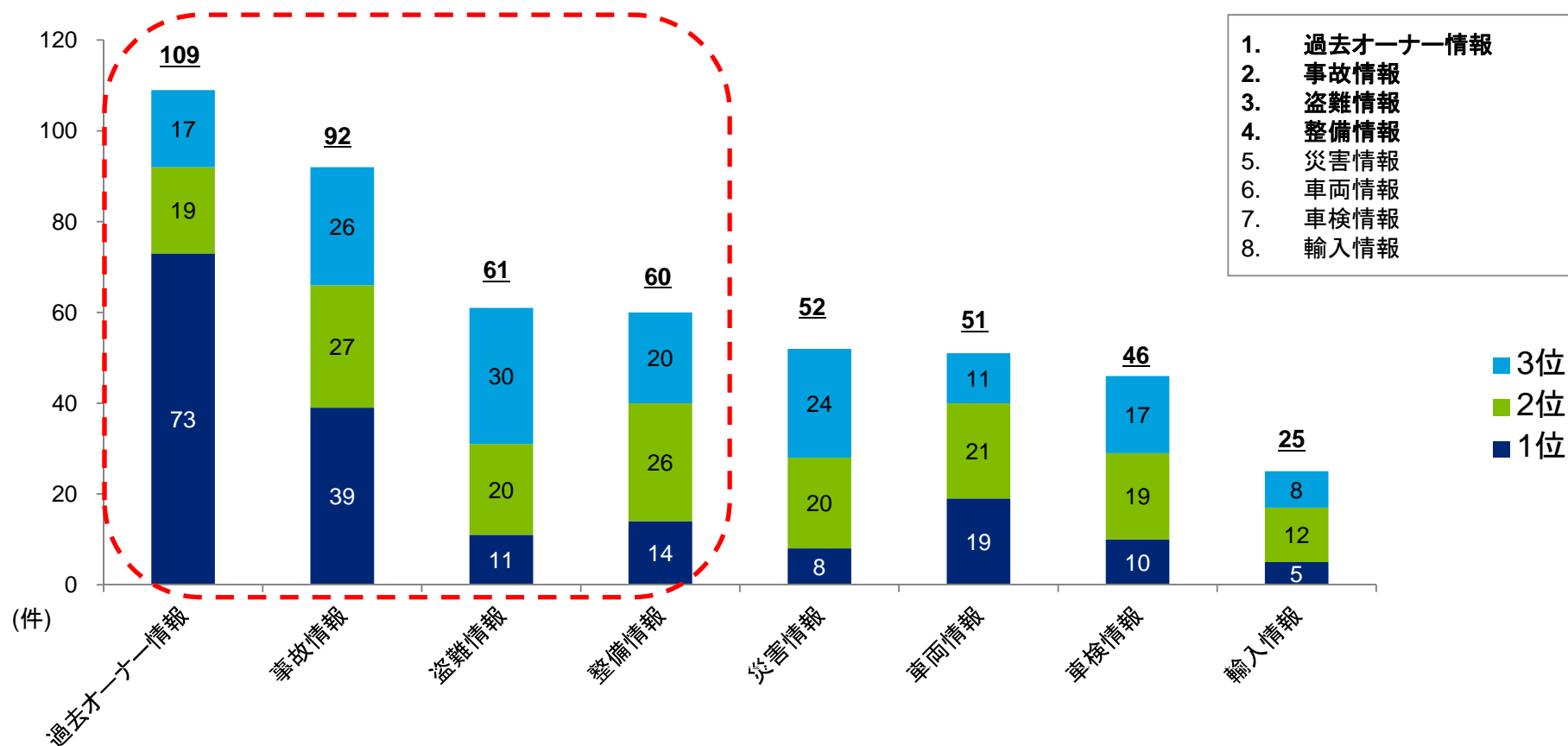
設問3-2:経済的援助があっても情報提供したくない層(11.3%)が情報提供に抵抗のある情報項目について

分析

■ 「過去オーナー情報」、「事故情報」、「盗難情報」、「整備情報」に対する抵抗が高くなっている。

質問

問: レポートに情報提供することに抵抗のある情報項目は何ですか? (3つまで選択、N=179)



設問3-3:経済的援助があっても情報提供したくない層(11.3%)が情報提供に抵抗のある詳細情報について①(過去オーナー情報、事故情報)

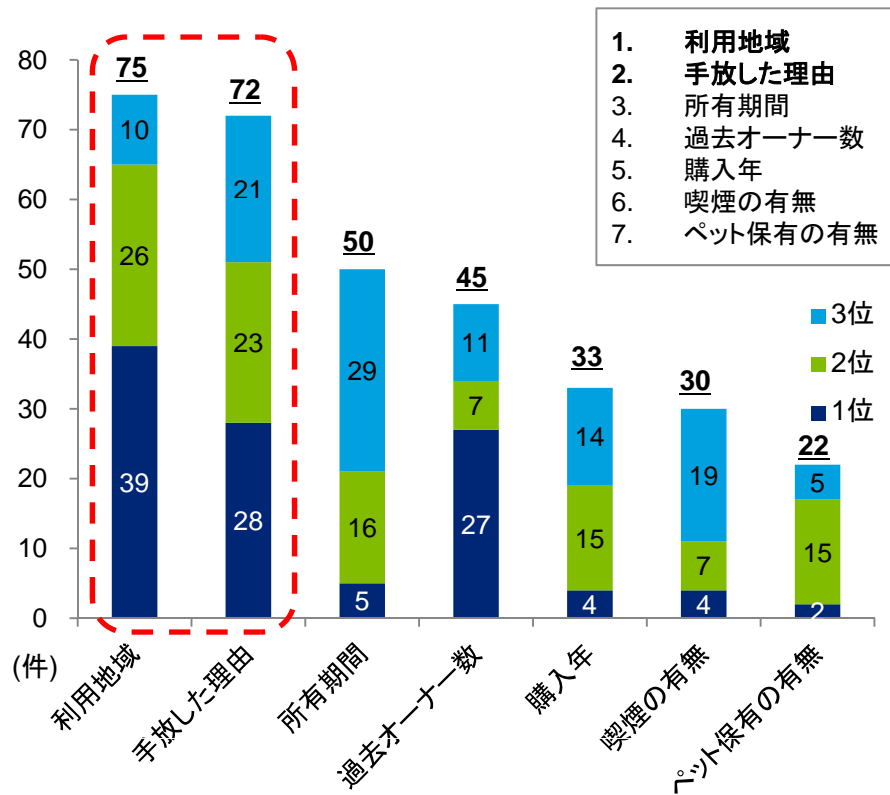
【過去オーナー情報】

分析

■ 過去オーナー情報の中では、「**利用地域**」、「**手放した理由**」に対する抵抗が高くなっている。

質問

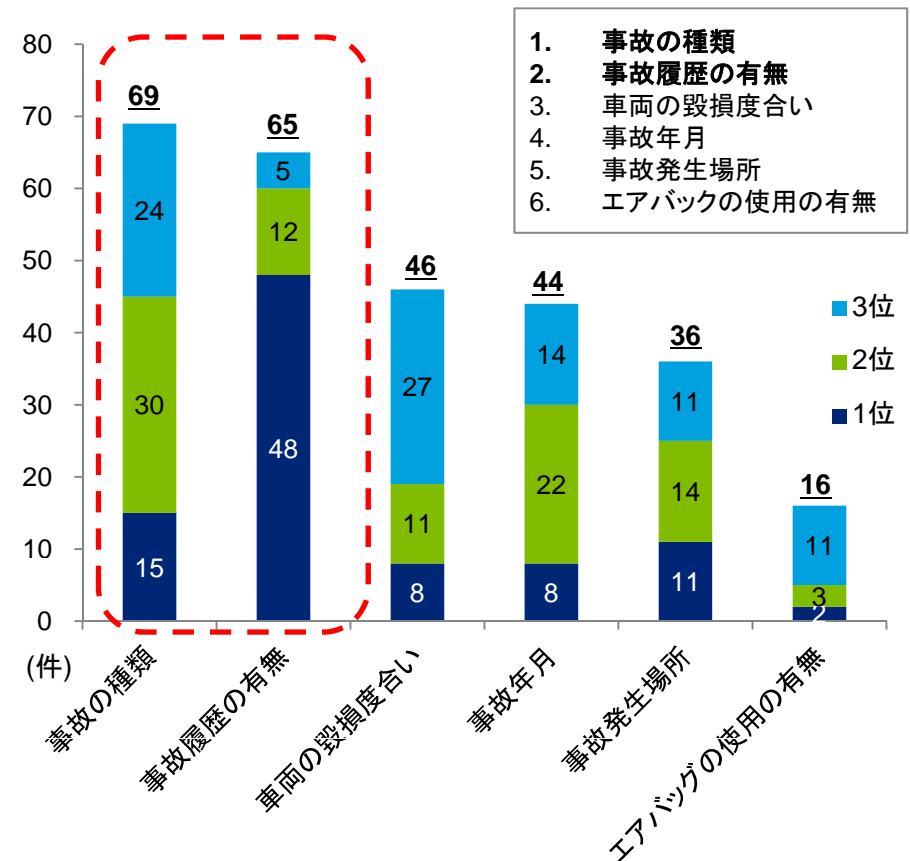
問:過去オーナー情報のうち、レポートに情報提供することに抵抗のある情報項目は何ですか？(3つまで選択、N=109)



【事故情報】

■ 事故情報の中では、「**事故の種類**」、「**事故履歴の有無**」に対する抵抗が高くなっている。

問:事故情報のうち、レポートに情報提供することに抵抗のある情報項目は何ですか？(3つまで選択、N=92)



設問3-4:経済的援助があっても情報提供したくない層(11.3%)が情報提供に抵抗のある詳細情報について②(盗難情報、整備情報)

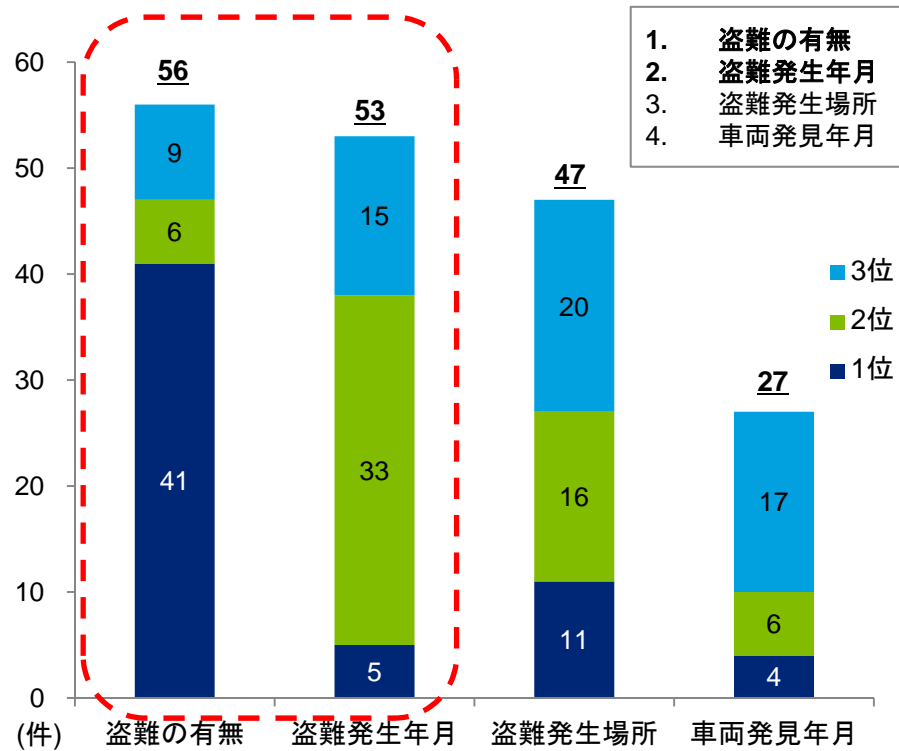
【盗難情報】

分析

■ 盗難情報の中では、「盗難の有無」、「盗難発生年月」に対する抵抗が高くなっている。

質問

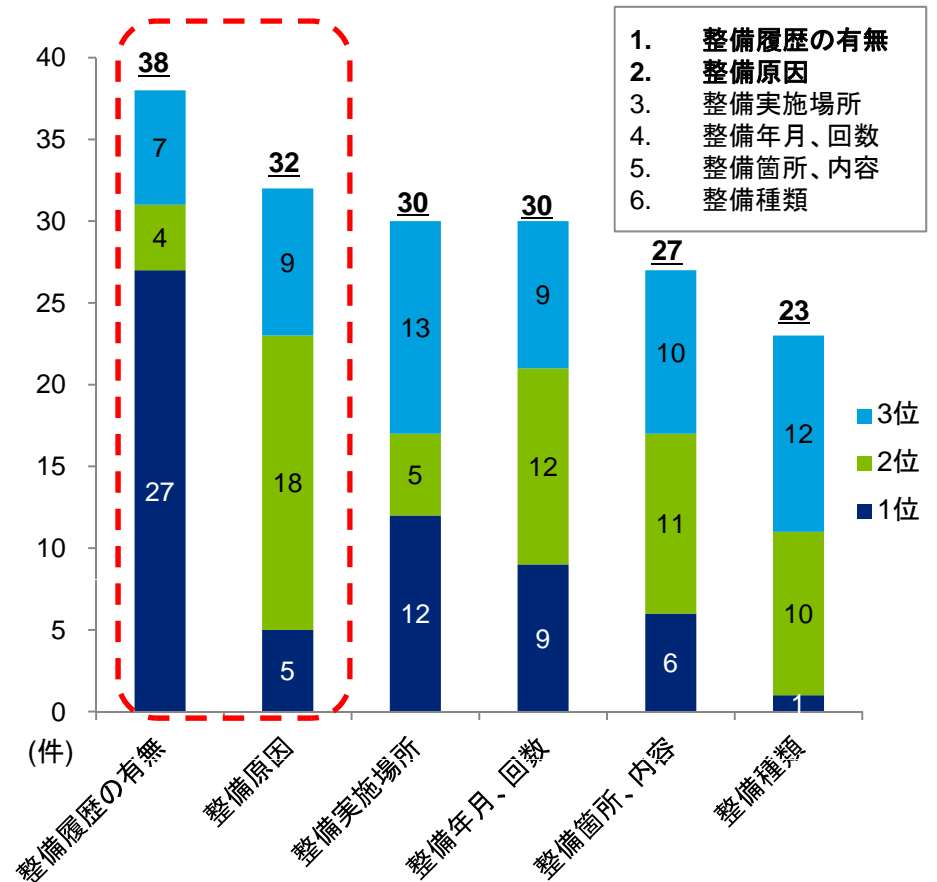
問:盗難情報のうち、レポートに情報提供することに抵抗のある情報項目は何ですか？(3つまで選択、N=61)



【整備情報】

■ 整備情報の中では、「整備履歴の有無」、「整備原因」に対する抵抗が高くなっている。

問:整備情報のうち、レポートに情報提供することに抵抗のある情報項目は何ですか？(3つまで選択、N=60)



設問3-5:経済的援助があっても情報提供したくない層(11.3%)が情報提供に抵抗のある詳細情報について③(災害情報、車両情報)

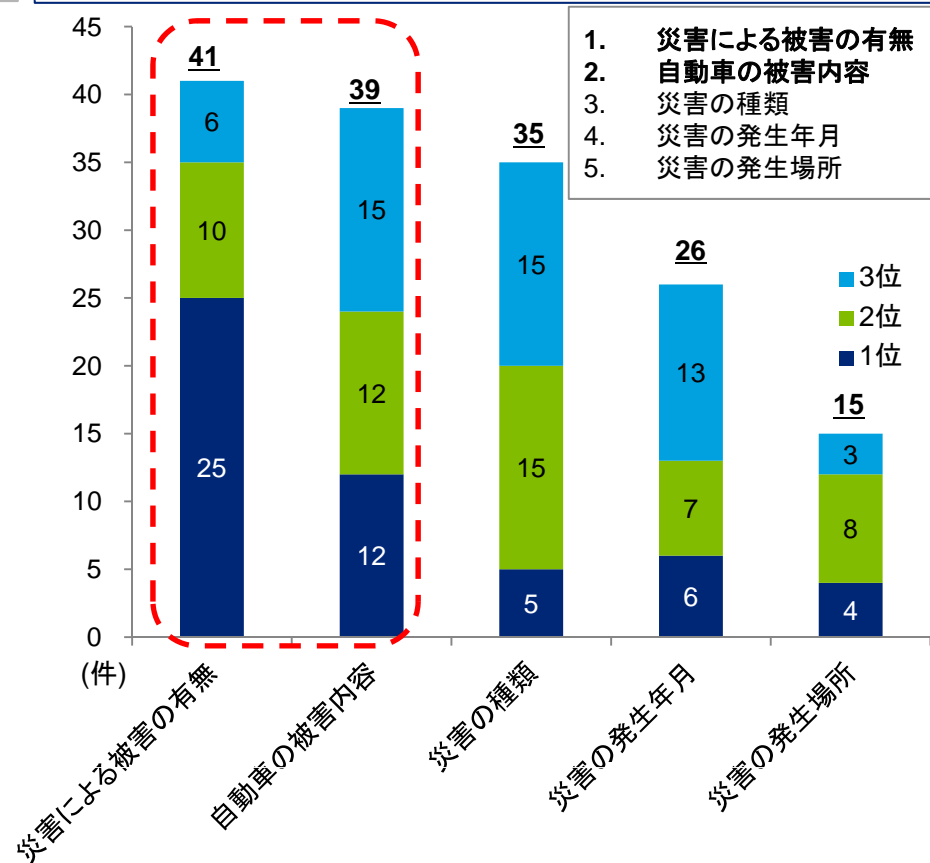
【災害情報】

分析

■ 災害情報の中では、「**災害による被害の有無**」、「**自動車の被害内容**」に対する抵抗が高くなっている。

質問

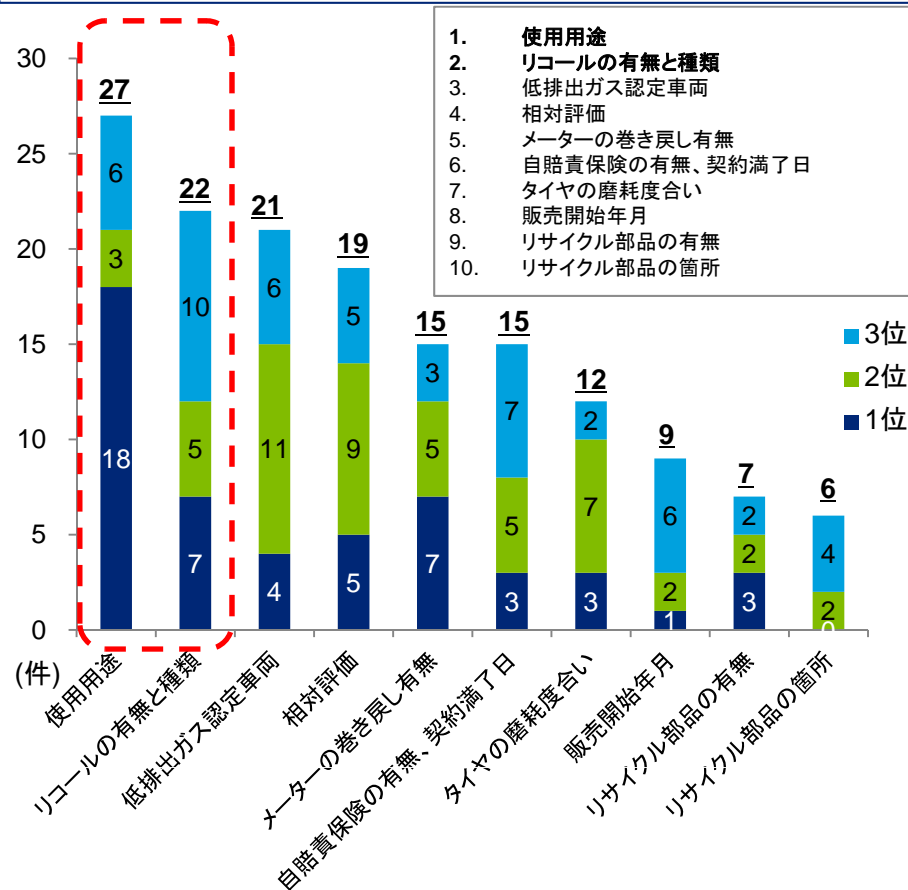
問:災害情報のうち、レポートに情報提供することに抵抗のある情報項目は何ですか？(3つまで選択、N=52)



【車両情報】

■ 車両情報の中では、「**使用用途**」、「**リコールの有無と種類**」に対する抵抗が高くなっている。

問:車両情報のうち、レポートに情報提供することに抵抗のある情報項目は何ですか？(3つまで選択、N=51)



設問3-6:経済的援助があっても情報提供したくない層(11.3%)が情報提供に抵抗のある詳細情報について④(車検情報、輸入情報)

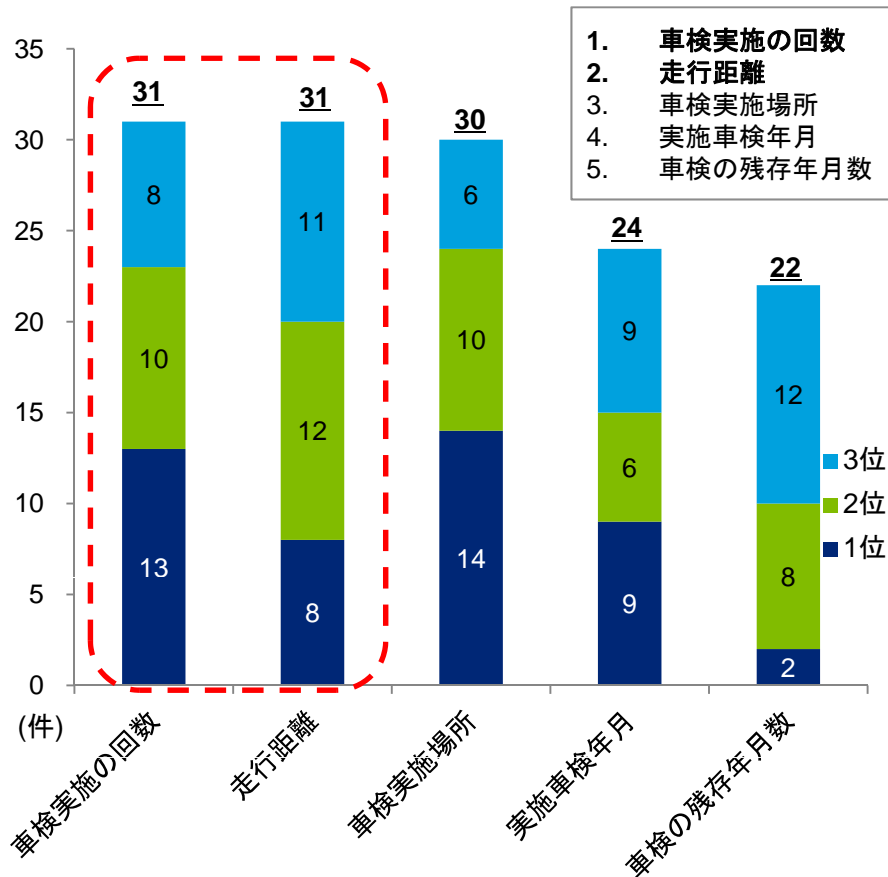
【車検情報】

分析

■ 車検情報の中では、「**車検実施の回数**」、「**走行距離**」に対する抵抗が高くなっている。

質問

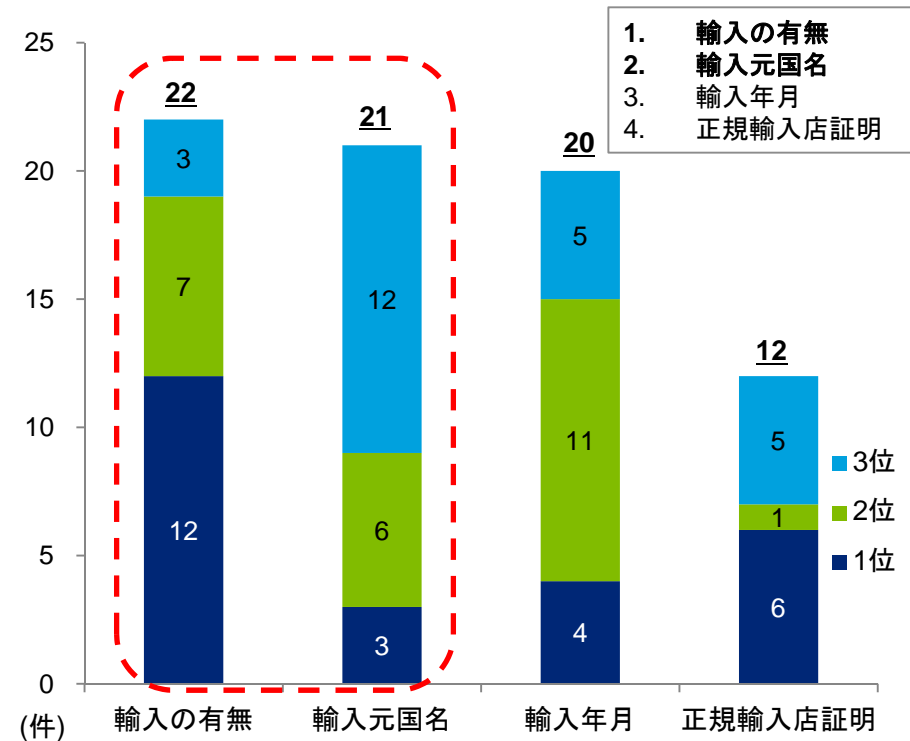
問:車検情報のうち、レポートに情報提供することに抵抗のある情報項目は何ですか？(3つまで選択、N=46)



【輸入情報】

■ 輸入情報の中では、「**輸入の有無**」、「**輸入元国名**」に対する抵抗が高くなっている。

問:輸入情報のうち、レポートに情報提供することに抵抗のある情報項目は何ですか？(3つまで選択、N=25)



設問3-7:経済的援助があっても情報提供したくない層(11.3%)が情報提供に抵抗のある情報項目について(1位回答と2位回答の頻度)

分析

- 1位回答と2位回答の関係性を見ると、「過去オーナー情報×事故情報」、「事故情報×整備情報」、「過去オーナー情報×盗難情報」に対する抵抗が高くなっている。

質問

問:レポートに情報提供することに抵抗のある情報項目は何ですか?(3つまで選択、N=179)

1位回答

2位回答

	車両情報	車検情報	輸入情報	過去オーナー情報	整備情報	事故情報	災害情報	盗難情報	計
車両情報		3		6	1	8	1	2	21
車検情報	3			8	4	4			19
輸入情報		1		5	3		3		12
過去オーナー情報	2	2	1			7	3	4	19
整備情報	3	2		10		11			26
事故情報	5	2		14	2			4	27
災害情報			3	8	2	6		1	20
盗難情報	5		1	11	1	2			20
特になし	1			11	1	1	1		15
計	19	10	5	73	14	39	8	11	179